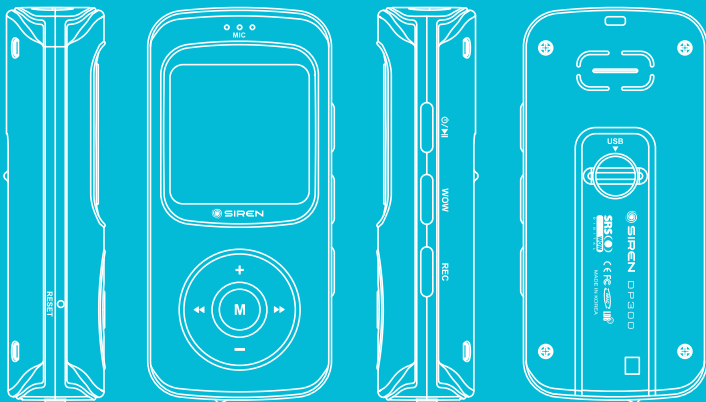




DP300

Digital Audio Player

取扱説明書



最新のカラー版取扱説明書は、SIREN Web サイト [\[www.sirenjp.com\]](http://www.sirenjp.com) にアップロードされています。

また、巻末には英文のクイックリファレンスを記載しております。

The end of this user guide has a Quick Reference in English.

目次

安全上のご注意	v	基本の操作	15
絵表示について	v	音楽を聴く(基本)	15
安全上のご注意 [本体]	vi	準備	15
はじめに	1	再生の基本操作	16
ご使用の前に	2	再生の応用操作	17
パッケージ内容の確認	2	音楽を聴く(応用)	18
充電について	2	色々な再生方法	18
パソコンを使つての充電	2	再生方法の選択	18
各部の名称と動作	4	区間リピートの設定	19
各部の名称	4	音質の切り換え	
各部の動作	5	(イコライザー)	20
表示部	9	ナビゲーションを使つての	
再生時表示	9	曲の選択	21
FM ラジオ表示	9	曲の削除	23
録音時表示	10	メインメニューについて	24
メニュー表示	10	モードを変更するには	24
準 備	11	動画を見る	25
パソコンとの接続と		FM ラジオを聴く	27
切り離し	11	スキャンモードとプリセット	
接続	11	モードの切り換え	28
切り離し (Windows 2000/		スキャンモードで FM 放送を	
Me/XP の場合)	12	聴く	28
切り離し (Windows 98SE の場合、		自動でプリセットを行う	
「パソコンからの切り離しアイコン		(オートプリセット)	29
が表示されない場合)	13	プリセットした放送局を	
CD からの録音方法	14	聴く	30
		プリセットを変更する	
		(マニュアルプリセット)	30

商標と著作権

- ①本書の内容の一部または全部を無断で転載する事を禁じます。
- ②本書の内容および含まれている情報は、予告なく変更される事があります。
- ③本書の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
- ④当社では、本製品を運用した結果の影響につきましては、③項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- ⑤本書内で指示されている内容には、必ず従ってください。本書に記載されている内容を無視した行為や誤った操作によって生じた障害および損害については、保障期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。

Microsoft、Windows Media および Windows のロゴは米国およびその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

SRS (SRS Labs, Inc. の商標です。WOW 技術は、SRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

MIC ロゴは商標です。

プリセットを削除する	31	設定を変更するには	56
FM 放送の録音	31	セッティングメニューの	
エリアの切り換え	32	操作	56
音声の録音		音に関する設定を	
(ボイスレコーディング)	33	変更する	58
ボイスレコーディング	33	音質を切り換える	58
ライン入力	35	音質をバンドごとに	
準備	35	設定する	59
ライン入力の録音	36	SRS の設定を変更する	60
録音データの再生	37	キーを押したときの音の	
応用の操作	38	設定	61
気に入った曲のプログラム		スピーカーの設定	62
(プレイリスト)	38	再生する速度の切り換え	63
プログラム方法	38	二人で音楽を聴く	
プレイリストの再生	40	(デュアルイヤホン)	64
全曲の再生	41	表示に関する設定を	
プレイリストの削除	42	変更する	65
写真を見るには		バックライトの点灯時間を	
(イメージビューフ)	43	設定する	65
準備	43	コントラストを調節する	66
写真を見る	44	ID3 タグで表示する	67
文章を読むには		歌詞を表示する	68
(テキストビューフ)	46	文字のスクロール速度を	
準備	46	設定する	69
文章を読む	47	スクリーンセーバーの	
テレビをリモコン操作する	49	設定	70
準備	49	再生する音楽をビジュアル	
リモコンを操作する	50	表示する	71
ゲームをする	52		
バイオリズムを調べる	54		

時計や時間に関する設定を変		間違ってキーを押さない	
更する	72	ために	84
現在の日時を設定する	72	ホールド機能について	84
設定した時間にアラームを		ファームウェアのアップ	
鳴らす	73	グレードについて	85
設定した時間に FM 放送を		ホームページからのファーム	
録音する	74	ウェアのダウンロード方法	85
設定した時間が過ぎると電源を		ファームウェアのアップグ	
切る (スリープタイマー)	75	レード方法	89
操作がないと自動で電源を		リカバリーモードを使っの	
切る (パワーセイビング) ...	76	ファームウェアのアップ	
録音する品質や条件を		グレード方法	92
変更する	77	ファームウェアのバージョン	
録音する品質を変更する ...	77	を確認	93
録音する際の入力レベルを		その他	95
設定する	78	故障かなと思ったら	95
オートシンクロ設定を		本機のリセット方法	96
変更する	79	サポートセンターへの	
キー操作やその他設定を		お問い合わせ方法	97
変更する	80	最新情報について	97
再生方法を選択する	80	製品の修理／交換に	
WOW キーを早送り・早戻しのキー		について	98
に変更する (クイックキュー)	81		
クイックキューの時間を			
設定する	82		
表示される言語を選ぶ	83		

Quick Reference	99
Part names and functions.....	99
Main Menu.....	103
To change the mode.....	103
Main Menu Contents	104
Setting Menu	105
To change the Setting	
Menu	105
Setting Menu.....	106
Setting SOUND	
(音設定)	107
Setting DISPLAY	
(LCD 画面設定)	107
Setting TIMER	
(時計設定)	108
Setting RECORD	
(コントロール設定)	108
Setting PROPERTY	
(録音設定)	109

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られる場所に保証書と共に大切に保管してください。

■ 絵表示について ■

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

安全上のご注意 [本体]

警告

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグを
コンセントから
抜け

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。



水場での使用
禁止

- 雷が鳴り出したら、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターには触れないでください。感電の原因となります。



接触禁止

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



水濡れ禁止

- 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、AC アダプターをご使用の際は、AC アダプターをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグを
コンセントから
抜け

警告

- この機器の内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- この機器の上や近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。
- この機器のキャビネットは絶対外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。
- この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。



分解禁止

⚠ 注意

- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- イヤホンやスピーカー等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱しやけどの原因となることがあります。
- 再生する前には、音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、本機をスピーカーを使ってお楽しみなる前にも、音量(ボリューム)を最小にしてください。
- 自動車やバイク、自転車の運転中は、イヤホンでのご使用はおやめください。運転の妨けとなり、違法となる場合があります。
- 大音量で長時間音楽を聴き続けると、聴力に支障をきたす場合がありますのでご注意ください。万一、耳鳴がする場合にはご使用を中断してください。



はじめに

まず、はじめに

この度は本製品をお買い上げいただきありがとうございます。本製品の機能を最大限に利用してあなたの音楽ライフをさらに楽しいものにしてください。この「取扱説明書」では製品の操作方法と機能についてご紹介しています。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「安全上のご注意」「取扱説明書」をよくお読みください。

本製品の特徴

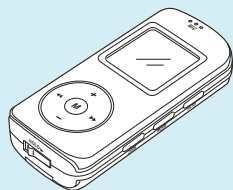
- MP3、WMA、WMA (DRM 対応)、WAV および Ogg Vorbis ファイルの再生が可能
- 便利なフォルダー機能
- ID-3 タグ (ID3 V.1、ID3 V.2 対応) をサポート
- 日本語を含む多言語表示に対応
- FM チューナー機能、20 プリセットチャンネル
- FM 録音
- SRS WOW 機能搭載
- 内蔵マイクによる音声録音
- TFT カラー液晶 (6 万 5 千色)
- スクリーンセーバー機能
- オートシンクロ機能付、ダイレクタエンコーディング、ライン入力録音
- 時計機能
- ゲーム機能 (ブラックジャック)
- テキスト表示機能
- 再生速度調整機能
- 赤外線リモコン機能で TV の操作ができます
- 500mW 高音質スピーカー内蔵
- USB2.0 対応
- 5 種類のプリセットイコライザー機能およびカスタム設定できるユーザー設定イコライザーが使用可能
- 内蔵リチウムポリマー充電電池を使用し、約 24 時間の連続再生が可能 (但し、動画再生時約 8 時間)
- バッテリー残量表示
- 対応 OS : Windows Me、2000、XP
- Windows 98 SE 対応 : 専用ドライバーのインストールが必要
- 本体の寸法は (突起物を含まず) (mm) : 33.5 (W) × 71 (H) × 17 (D)
- 重量 : 約 43g (内蔵充電電池含む)
- ファームウェアのアップグレード
- ◆ 最新のファームウェアは SIREN Web サイト [www.sirenjp.com] からダウンロードしてください
- ◆ ファームウェアのアップグレードをする前に、本機に入っている重要なファイルは必ずバックアップ保存してください

ご使用前に

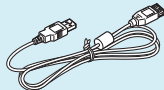
パッケージ内容の確認

- 重要** ● お買い求めになられて、ご使用前に下記の物が梱包されていることをご確認ください。万が一、不足がある場合は、お買い求めになられた販売店または当社のサポートセンターまでご連絡ください。

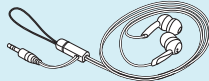
● DP300 デジタルオーディオプレーヤー



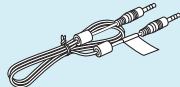
● USB ケーブル(パソコン接続用)



● ネックレス型イヤホン



● ライン入力ケーブル



● 取扱説明書(本書)

● クイックガイド

● 保証書

● 録音方法ガイド

充電について

- 重要** ● お買い求めになられた製品は充電されておりません。お使いになる前に必ず充電を行ってください。

パソコンを使っでの充電

- 1** USB コネクターをスライドさせて出します。

- 2** USB コネクターとパソコンの USB 端子を接続します。
● 表示部に が表示されます。

- 3** 表示部の が になったことを確かめてください。
● になれば充電完了です。初めて充電する場合や長期間ご使用にならなかった場合は、 になるまで約 8 時間かかる場合があります。

- 4** 「パソコンとの接続と切り離し」(P.10 ~ P.12) を参考にして、本機をパソコンから取り外してください。
● 表示は消え、電源を切った状態になります。

- ヒント** ● パソコンによっては USB 接続端子の向きが逆の場合がありますのでご注意ください。
● パソコンの USB 端子にスペースがない場合、または、接続部が不安定な場合は、付属の延長ケーブルをご使用ください。
● ホールド状態(P.84) で充電を行うと、クイック充電になります。充電時間の目安としては以下になります。
通常充電：約 5 時間 クイック充電：約 3 時間
● クイック充電の場合、バッテリーのアイコンは の表示のままです。

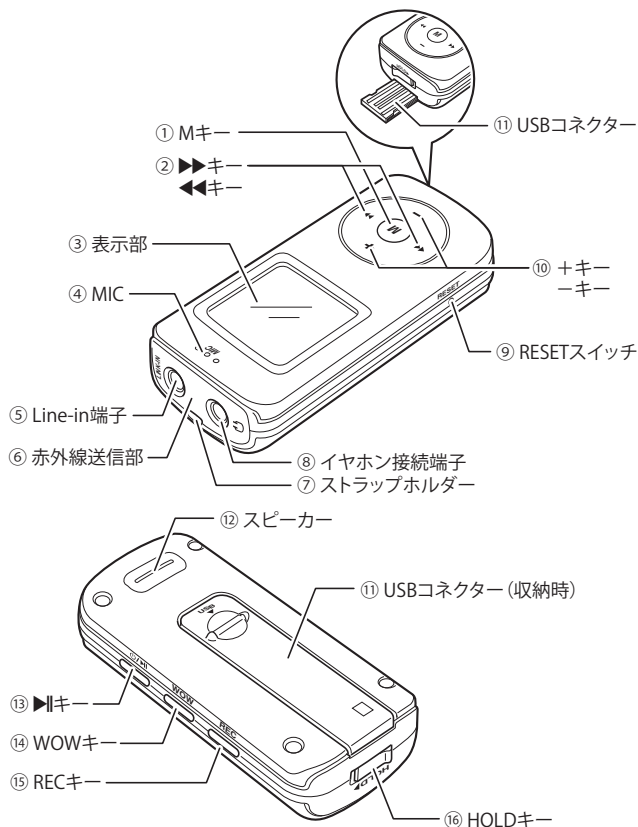
- 重要** ● パソコン USB 端子と本機の USB 端子の接続向きは必ず右記の向きで接続してください。逆の向きに接続した場合、パソコンおよび本機に支障をきたすことがあります。



※充電用 AC アダプターは別売です。

各部の名称と動作

各部の名称



各部の動作

各メニュー時の操作によりこれらのキーの機能が異なるキーもありますので、各メニュー操作の説明をご覧ください。

① M キー

このキーを長く押すと、メインメニュー表示になります。(P.10)
このキーを押して、選択した項目を決定します。

◆ 音楽再生、録音再生モード時

このキーを押すと、ナビゲーションが表示されます。

◆ FM ラジオモード時

このキーを長く押すと、スキャンモードとプリセットモードを切り換えます。

◆ 録音時

このキーを押すと、録音を停止します。

② ▶▶ キー、◀◀ キー

◆ 音楽再生モード時

▶▶ キーを押すと、次のデータ番号の曲に移ります。

◀◀ キーを押すと、前のデータ番号の曲に移ります。

▶▶ キーを押し続けると、曲の早送りができます。

◀◀ キーを押し続けると、曲の早戻しができます。

曲の早送り、早戻しは、曲の停止中でも行えます。

◆ FM ラジオモード時

▶▶ キーを押すと、0.1MHz ステップで周波数が上ります。

◀◀ キーを押すと、0.1MHz ステップで周波数が下ります。

▶▶ キーを押し続けると、周波数の高い局を自動的に検索します。

◀◀ キーを押し続けると、周波数の低い局を自動的に検索します。

◆ ナビゲーション時

◀◀ キーまたは ▶▶ キーを押すことにより、フォルダーの階層を移動させることができます。

③ 表示部

曲名やアーティスト名等が表示されます。(P.9)
選曲や設定のためのメニューが表示されます。(P.10)

④ MIC

この部分が内部マイクです。ボイスレコーディング時に使用します。(P.33)

⑤ Line-in 端子

ライン入力で録音を行う場合は、お使いになるオーディオ製品と接続します。(P.35)

⑥ 赤外線送信部

本機をテレビのリモコンとして使う場合、この部分から赤外線がでます。

⑦ ストラップホルダー

ここ部分に、付属のネックレスイヤホンのストラップ部を通して使います。

⑧ イヤホン接続端子

この端子にイヤホンを接続します。

⑨ RESET (リセット) スイッチ

本機が動かなくなったときには、このスイッチをゼムクリップ等で押してリセットを行ってください。設定等が初期設定になります。本機が動かなくなったときに行ってください。(P.96)

⑩ +キー、-キー

◆ 音楽再生、FM ラジオ、録音再生モード時
+キーを押すと、音量が大きくなります。
-キーを押すと、音量が小さくなります。
+キーを押し続けると、音量が早く大きくなります。
-キーを押し続けると、音量が早く小さくなります。
これらのキーを押して、セッティングメニューの操作時(P.56)に設定値を選びます。

◆ ナビゲーション時
+キーまたは-キーを押すことにより、フォルダーおよびファイル間の移動が行えます。

⑪ USB コネクター

この端子とパソコンを接続します。ノートパソコンやパソコンのUSB端子にスペースがない場合は付属延長ケーブルをご使用ください。

⑫ スピーカー

この部分が内部スピーカーです。(P.62)

⑬ 電源キー

このキーを押すと、電源が入ります。
このキーを長押しすると、電源が切れます。

◆ 音楽再生モード時
このキーを押すと、曲の再生・一時停止を行います。

◆ FM ラジオモード時
このキーを押すと、一時的に音声を止めるミュート状態になります。

⑭ WOW キー

◆ 音楽再生、録音再生モード時

このキーを押すと音質を切り換えることができます。
このキーを長く押すと再生方法を変更できます。

◆ FM ラジオ時

このキーを押すと、受信エリアを切り換えます。
スキャンモード時にこのキーを長く押すと、周波数の自動検索になります。
プリセットモード時にこのキーを長く押すと、オートプリセットが始まります。

⑮ REC キー

◆ 音楽再生、録音再生モード時

再生時にこのキーを押し、区間リピートを設定します。

◆ 録音、Line モード入力時

このキーを長く押すと録音が始まります。

◆ FM ラジオモード時

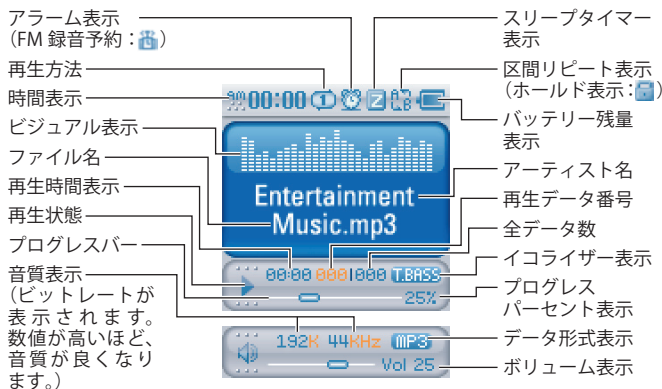
このキーを長く押すと FM 放送の録音になります。
このキーを押すとプリセット登録または削除になります。

⑯ HOLD (ホールド) キー

このキーを右側(▶ 方向)にスライドさせると、全てのキー操作ができなくなります。

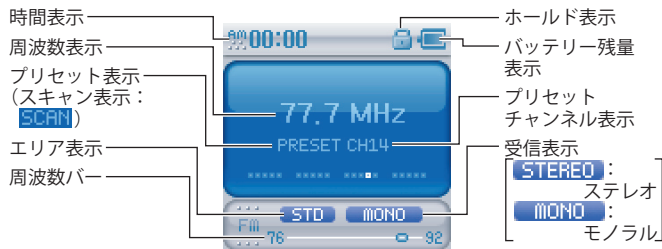
▶ 表示部

■ 再生時表示

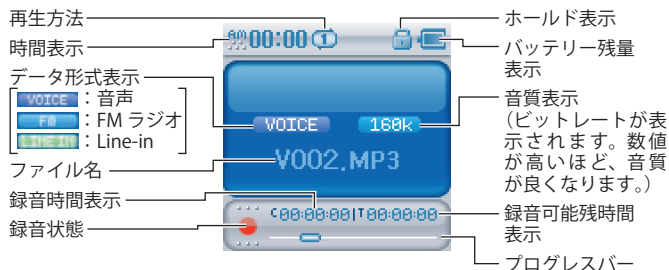


📌 **ヒント** ● 再生する曲や設定により、表示されない項目があります。

■ FM ラジオ表示



録音時表示



メニュー表示

メインメニューおよびセッティングメニューを選択した場合は、下図の表示が表示されます。



メインメニュー



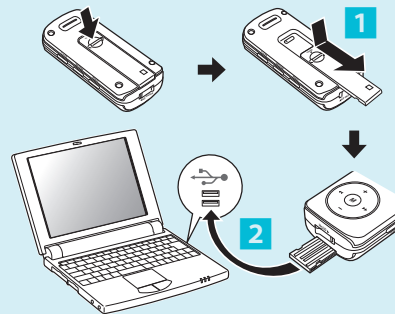
セッティングメニュー

準備

パソコンとの接続と切り離し

接続

- 1 USB コネクタをスライドさせて出します。
- 2 USB コネクタとパソコンの USB 端子を接続します。
●コネクタの向きについては、次ページをご確認ください。
- 3 本機の表示がリムーバブルディスク表示になることを確認してください。



ヒント

クリック マウスの左ボタンを押して、はなす操作です。
ダブルクリック マウスの左ボタンを2回素早く押して、はなす操作です。
右クリック マウスの右ボタンを押して、はなす操作です。

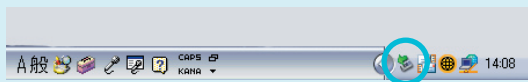
✓ **注意** ● パソコンによっては USB 接続端子の向きが逆の場合がありますのでご注意ください。

重要

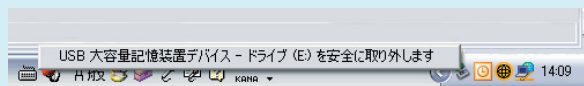
- パソコン USB 端子と本機の USB 端子の接続向きは必ず右記の向きで接続してください。逆の向きに接続した場合、パソコンおよび本機に支障をきたすことがあります。

**切り離し (Windows 2000/Me/XP の場合)**

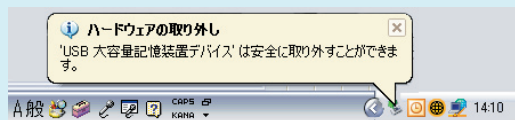
- 1 パソコンのタスクバーにある「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックします。
 - 「USB 大容量記憶装置デバイスドライブを安全に取り外します」が表示されます。



- 2 「USB 大容量記憶装置デバイスドライブを安全に取り外します」をクリックします。
 - 「ハードウェアの取り外し」が表示されます。



- 3 「ハードウェアの取り外し」の×をクリックします。



- 4 本機をパソコンから外します。

ヒント

- パソコンから切り離すと、本機は電源が切れた状態になります。
- 手順 2 にて左クリックするタイミングにより、本機の表示が点灯したままになることがあります。但し、本機をパソコンから切り離すと、本機は電源が切れた状態になります。

切り離し (Windows 98SE の場合、「パソコンからの切り離しアイコンが表示されない場合」)

- 1 パソコン上の「マイ コンピューター」をダブルクリックします。
 - 「マイ コンピュータ」のウィンドウが表示されます。
- 2 「マイ コンピュータ」のウィンドウにある「リムーバブルディスク」アイコンをクリックします。
 - 「リムーバブルディスク」が選ばれた状態になります。
- 3 選ばれた「リムーバブルディスク」アイコンを右クリックし、表示されたメニューの「取り出し」をクリックします。
- 4 本機をパソコンから外します。

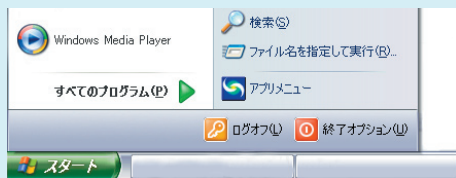
ヒント

- Windows 98SE をお使いになる場合は、SIREN Web サイト [www.sirenjp.com/support/] からドライバーをダウンロードしてください。
- パソコンから切り離すと、本機は電源が切れた状態になり、再度電源が入ります。

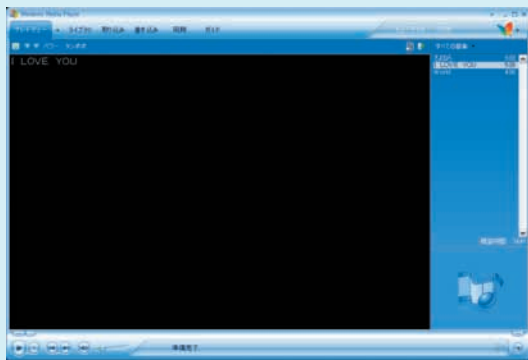
CD からの録音方法

CD から録音する場合、曲をパソコンに音楽データとして取り込み(ダウンロード)、その後にその音楽データを本機にダウンロードします。この CD からパソコンへのダウンロードまたパソコンから本機へのダウンロードを行うときは、Windows に付属されている Windows Media Player を使います。

- 1 スタートメニューから Windows Media Player のアイコンをクリックします。



- Windows Media Player 10 を開くと、次のような表示になります。



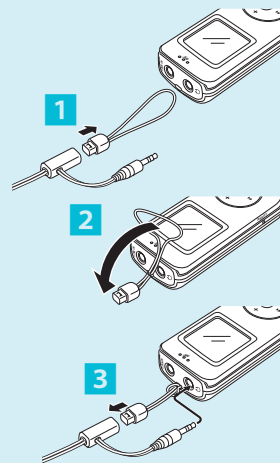
- Windows Media Player 10 の使い方については、本機に同梱されています「CD からの録音方法 (Windows Media Player 使用時)」をご覧ください。

基本の操作

音楽を聴く(基本)

準備

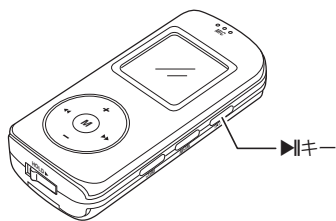
- 1 付属イヤホンのネックストラップ部を回して外します。
- 2 外したネックストラップ部を本機のホルダー部分に通します。
- 3 外したネックストラップ部を本機に取り付け後、本機のイヤホン端子とイヤホンのジャックを接続します。



✓ 注意

- 市販のイヤホンをお使いになるときは、本機がイヤホンから外れて落ちない様に気を付けてください。万一、本機を落とされると、故障の原因となることがあります。

再生の基本操作



- 注意** ● 曲を再生する前に、**▶||**キーを押して音量(ボリューム)は、最小にしてください。音量が大きいと、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

- 1** **▶||**キーを1秒以上押し、電源を入れます。
 - 表示部に SIREN のロゴとファームウェアのバージョンが表示され、再生表示になります。
 - **▶||**キーを放してから、SIREN のロゴが表示されるまでに約2秒程度かかる場合があります。
- 2** 再度、**▶||**キーを押し、曲を再生します。
 - 再生を一時停止するには、**▶||**キーを押します。
- 3** 電源を切るには、SIREN ロゴが表示されるまで **▶||**キーを押し続けます。
 - SIREN ロゴが表示される前にキーを放すと、元の状態に戻ります。

- ヒント** ● 電源を切る前に他のモードにしても電源を入れ直すと音楽再生モードになります。
- 音楽の再生中に電源を切って再度電源を入れた場合は、電源を切った時の音楽の位置になります。(タイムレジューム機能)。
 - 録音中は、電源は切れません。

再生の応用操作

再生時に使うその他のキー

- 1** **▶||**キーを1秒以上押し、電源を入れます。
- 2** 再度、**▶||**キーを押し、曲を再生します。
- 3** **+**キーまたは**-**キーを押して音量を調整します。
 - **+**キーを押すと、音量が大きくなります。
 - **-**キーを押すと、音量が小さくなります。
 - **+**キーを押し続けると、音量が早く大きくなります。
 - **-**キーを押し続けると、音量が早く小さくなります。
- 4** **▶▶**キーを押すと、次の曲に移ります。
 - **▶▶**キーを押し続けると、曲の早送りができます。
- 5** **◀◀**キーを1回押すと、再生中の曲の最初に戻ります。
 - **◀◀**キーを続けて押すと、前のデータ番号の曲に移ります。
 - **◀◀**キーを押し続けると、曲の早戻しができます。

- ヒント** ● 曲の早送り、早戻しは、曲の停止中でも行えます。

音楽を聴く(応用)

色々な再生方法

本機では、リピート(繰り返し)再生、ランダム(順不同)再生、フォルダー再生(フォルダー内の音楽データを再生)、プログラム再生といった色々な再生方法をお楽しみいただけます。

重要

- ランダム再生には、複数の音楽データがダウンロードされている必要があります。
- プログラム再生では、プログラム機能(P.38)を使って、事前にプログラムリストを設定しておく必要があります。
- 再生方法には5つの方法があります。再生中は、再生の種類を表わすアイコンが表示されます。各々の再生方法とアイコンの関係は次ページのようになります。

再生方法の選択

- 1 WOW キーを長く押し、離します。
 - 再生の種類を表わすアイコンが表示されます。
 - 再生中でも再生の種類を変えることができます。
 - WOW キーを短く押すと、イコライザーが変更されます。(P.20)
- 2 お好みの再生方法になるまで何回か手順1を繰り返します。

N 音楽データをデータ番号順に一度だけ演奏します。
(本機の基本となる再生方法です。本機をお買い上げ時には、この再生方法に設定されています。)

- 1 選んだ音楽データ1曲をリピート演奏します。
- A 全音楽データをリピート演奏します。
- R 音楽データをランダムに選び、1度だけ演奏します。
- S 音楽データをランダムに選び、リピート演奏します。

区間リピートの設定

再生中の曲のお聴きになりたい区間を繰り返し再生できます。

- 1 区間リピートさせたい音楽データを再生します。(P.16)
- 2 区間リピートをさせたい最初の部分がきた時に、REC キーを短く押します。
 - 表示部には[**2**]が表示されます。
- 4 区間リピートをさせたい最後の部分がきた時に、再度 REC キーを押します。
 - 表示部は[**4**]となり、設定した区間のみ演奏が繰り返されます。
- 5 区間リピート演奏を解除するには、REC キーを押します。
 - 表示部から区間リピートを示すアイコンが消えます。

注意 ●区間リピートは、トラック間を越えての設定はできません。同一のトラック内の設定となります。

■ 音質の切り換え(イコライザー)

再生する音楽データの音質を、その音楽データの内容に合わせて切り換えることができます。イコライザーは以下の9種類の中から選ぶことができます。



- 1 お好みのイコライザーのアイコンに変わるまで、何度か WOW キーを押します。

- WOW キーを長く押すと、再生方法が変更されます。



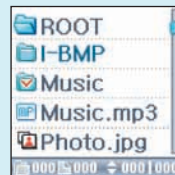
- セッティングメニュー (P.58) を使っても、イコライザーの設定内容を変更できます。
- ユーザー EQ では、はじめに設定されているイコライザーの設定から、お好みにより各設定のバンドを調整できます。
- 本機のスピーカーを使って再生しているときは、WOW キーを使ってイコライザーの変更はできません。

■ ナビゲーションを使つての曲の選択

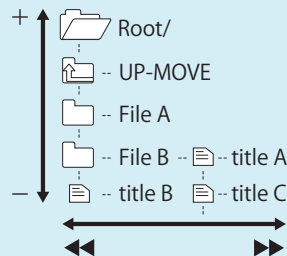
- 1 音楽データを表示します。

- 2 M キーを短く押します。

- 表示していた音楽データが入っているフォルダーが開いた状態で表示されます。



- 3 + / - キーまたは ◀ ▶ キーを押し、再生したい曲またはフォルダーを選びます。



- 4 再生したい曲またはフォルダーが決まったら、M キーを押します。

- フォルダーを選んだときは、フォルダー内が表示されます。曲を選んだときは再生が始まります。

- 5 手順3と4を繰り返して、再生したい曲を選んでください。

- 表示が再生画面に戻り、曲の再生が始まります。

ヒント

- ナビゲーションを選んだ際に表示されるのは以下のデータのみです。

表示、再生可能：音楽データ (MUSIC)

表示可能：FM 録音データ (FM)、

ボイスレコーディングデータ (VOICE)、

ライン入力データ (LINE-IN)、

テキストデータ (TEXT)

これ以外のパソコン用のデータは、データが入っていても表示されません。

- ▶▶ キーを押すと、選ばれているフォルダーの中が表示されます(下の階層に移動します)。◀◀ キーを押すと、選ばれている曲やフォルダーが入っているフォルダーが表示されます(上の階層に移動します)。

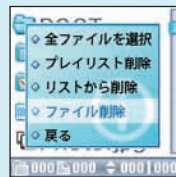
曲の削除

パソコンを使わず、本機の「ナビゲーション」機能を使って、保存されているデータを削除することができます。

重要

- 一度削除したデータは復活することができません。
- フォルダーごとの削除、フォルダーの削除はできません。

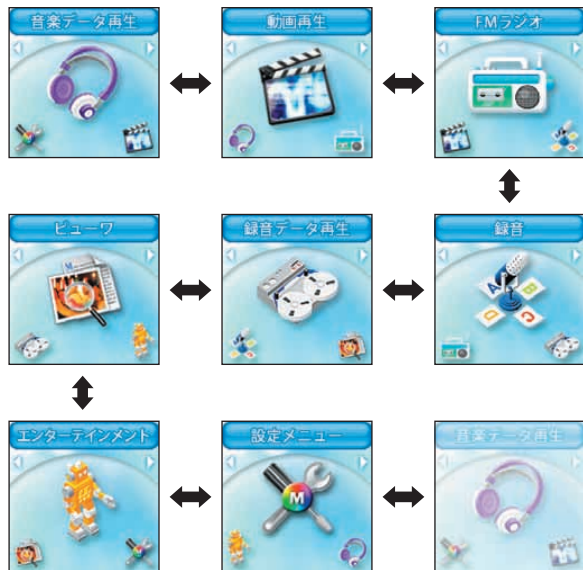
- 1 音楽データを表示し、M キーを押します。
- 2 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使い、削除したいデータを選びます。
- 3 REC キーを押します。
● ナビゲーションのメニューが表示されます。
- 4 + または - キーを押し「ファイル削除」を選びます。



- 5 M キーを押します。
● 選んだデータのみが削除され、ナビゲーションに戻ります。
- 6 音楽データ再生に戻るには M キーを押します。

▶ メインメニューについて

本機には音楽再生以外にも、次のようなモードがあります。メインメニューを使ってモードを切り換えます。



■ モードを変更するには

- 1 メインメニューが表示されるまで、M キーを押します。
- 2 ◀◀または▶▶ キーを押して、モードを選びます。
- 3 M キーを押します。

▶ 動画を見る

- 重要** ● 本機で再生できる動画は「MVIDEO」にて作成した SMV 形式のファイルのみです。
再生は「MVIDEO」のフォルダーに入っているデータのみです。
「MVIDEO」は SIREN Web サイトよりダウンロードしてください。

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「動画再生」を選びます。



- 2 M キーを押します。
● 動画データのリストが表示されます。
- 3 +または-キーを押し、再生するデータを選びます。
- 4 M キーを押します。
● 動画の再生が始まります。
- 5 +または-キーを押し音量を調整します。
● +キーを押すと、音量が大きくなります。
● -キーを押すと、音量が小さくなります。
● +キーを押し続けると、音量が早く大きくなります。
● -キーを押し続けると、音量が早く小さくなります。

- 6** 次のデータに移るには、▶▶ キーを押します。
前のデータに移るには、◀◀ キーを押します。
一時停止するには、▶|| キーを押します。
●◀◀または▶▶ キーを押し続けると動画の早戻し、早送りになります。
●再度、▶|| キーを押すと、再生が始まります。

- 7** 動画データのリストに戻るには、M キーを押します。



- 動画再生中は、バッテリーの残量が表示されません。従って、動画再生中に突然電源が切れることがあります。動画を再生する前には、バッテリーの残量が充分あることを確かめてください。
- 動画データの作り方は、SIREN Web サイトのサポートページ [www.sirenjp.com/support/] をご覧ください。

▶ FM ラジオを聴く

本機の FM ラジオ機能を使って、FM 放送をステレオで聞くことができます。

- FM ラジオ機能には、スキャンモードとプリセットモードの2つのモードがあります。スキャンモードでは、表示部に **SCAN** が表示されます。プリセットモードでは、表示部に **PRESET** が表示されます。スキャンモードでは、◀◀または▶▶ キーを操作してお聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。プリセットモードでは、予めお聴きになる放送局を登録(プリセット)しておいて、それらの登録された番号(プリセット番号)によりお聴きになりたい放送局を選びます。
- 受信できる放送局を自動的に探し出してプリセットするオートプリセット機能があります。
- プリセットできる放送局は20局までです。また、オートプリセットで登録された放送局を手動で入れ直すこともできます。
- FM 放送をお聞きになりながら、その放送を録音することも可能です。



- 本機ではイヤホンがアンテナの役割をしています。したがって、どのモードや操作のときでも、イヤホンは接続しておいてください。



- FM ラジオを使っている間は、自動的に電源を切るパワーセービング機能(P.76)は働きません。

スキャンモードとプリセットモードの切り換え

FM 放送を聴く前に本機のモードを設定する必要があります。

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「FM ラジオ」を選び、M キーを押します。



- 2 M キーを長く押しモードを切り換えます。
● M キーを長く押すたびにスキャンモードとプリセットモードが入れ替わります。




スキャンモードで FM 放送を聴く

- 1 「スキャンモードとプリセットモードの切り換え」(P.28)を行い、スキャンモードにします。
● スキャンモードの **SCAN** が表示されます。

- 2 ◀◀または▶▶ キーを押すたびに、周波数は 0.1MHz ステップで変わります。

- ◀◀または▶▶ キーを押し続けると、自動的に周波数の検索を始めます。電波を受信すると検索を終わり、受信した周波数の表示になります。
- ステレオ放送を受信すると表示部に **STEREO** が表示されます。
- モノラル放送または電波の弱いステレオ放送を受信すると表示部に **MONO** が表示されます。

- 3 受信した局に合わせて、音量を調節してください。
● ▶▶ キーを押すと、音声を一時的に消すミュート状態になります。このとき、表示部に  が表示されます。

自動でプリセットを行う(オートプリセット)

本機のオートプリセット機能を使うと、自動的に受信できる放送局を探し出し、その放送局の周波数をプリセットしていきます。この機能は、プリセットモードで働きます。

- 重要** ● この機能を使うと、事前にプリセットされた放送局は全て、この機能にて自動的に受信した放送局に入れ替わります。

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「FM ラジオ」を選び、M キーを押します。

- 2 WOW キーを長く押します。
● この時、WOW キーを短く押すとエリアの変更になります。
- オートプリセットが始まり、表示部の周波数がアップ、下部の周波数バーが左から右へ移動します。
● オートプリセットが終わると、最初にプリセットされた周波数が表示します。
- 自動的にプリセット番号の Ch01 ~ Ch20 番まで登録されます。
- 受信できる放送局の数により、プリセット番号が違って同じ周波数が登録されていることがあります。

■ プリセットした放送局を聴く ■

- 1 「スキャンモードとプリセットモードの切り換え」(P.28)を行い、プリセットモードにします。
 - プリセットモードの **PRESET** が表示されます。
- 2 ◀◀または▶▶ キーを押すたびに、プリセット番号が変わります。
 - プリセット局に合わせて、音量を調節してください。

■ プリセットを変更する(マニュアルプリセット) ■

- 1 「スキャンモードとプリセットモードの切り換え」(P.28)を行い、プリセットモードにします。
 - プリセットモードの **PRESET** が表示されます。
- 2 ◀◀または▶▶ キーを押し、変更したいプリセット番号にします。
- 3 「スキャンモードとプリセットモードの切り換え」を行い、スキャンモードにします。
- 4 「スキャンモードで FM 放送を聴く」(P.28 ～ P.29)の手順 1 から 2 を行い、プリセットしたい放送局を受信します。
 - スキャンモードの **SCAN** が表示されます。
- 5 REC キーを短く押します。
 - 「SAVE」が表示され、自動的に消えます。
 - モードはスキャンモードのままです。必要があればプリセットモードに変更してください。
 - REC キーを長く押すと、FM 放送の録音が始まります。

■ プリセットを削除する ■

- 1 「スキャンモードとプリセットモードの切り換え」(P.28)を行い、プリセットモードにします。
 - プリセットモードの **PRESET** が表示されます。
- 2 ◀◀または▶▶ キーを押し、削除したいプリセット番号にします。
- 3 REC キーを短く押します。
 - 「DEL」が表示され、自動的に消えます。
 - モードはスキャンモードのままです。必要があればプリセットモードに変更してください。
 - REC キーを長く押すと、FM 放送の録音が始まります。

■ FM 放送の録音 ■

- 1 「スキャンモードで FM 放送を聴く」(P.28 ～ P.29)または「プリセットした放送局を聴く」(P.30)の手順に従い、録音したい放送局を選びます。
- 2 FM 録音になるまで REC キーを押します。
- 3 録音を止めるには、M キーを押します。
 - FM ラジオの表示に変わります。



- ヒント**
- 録音されたデータは、MP3 形式のデータとして保存されます。
 - 録音されたファイルは F00X.MP3 というファイル名になります。
メインメニューの録音データ再生にて再生するファイルを見つけて再生してください(P.37)。

エリアの切り換え

本機は海外でご使用されるときのために、日本の放送局が使用している帯域以外の周波数も受信できるようになっています。

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「FM ラジオ」を選び、M キーを押します。
 - エリアの変更はスキャンモード、プリセットモードのどちらでも行えます。
- 2 WOW キーを短く押します。
 - エリア表示が日本を表す「JPN」から「STD」→「WIDE」に変わります。
「JPN」：76.0MHz～90.0MHz
「STD」：87.0MHz～108.0MHz
「WIDE」：76.0MHz～108.0MHz
 - 「WIDE」を選ぶと、受信できる周波数の範囲が広いためスキャンモードで受信できる周波数を探したり、オートプリセットを行うのに時間が掛かることがあります。
 - WOW キーを長く押すと、オートプリセット（プリセットモード時）になります。

音声の録音（ボイスレコーディング）

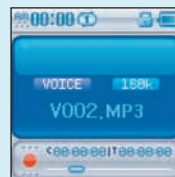
本機の音声録音機能を使って、用件や会議の音声を録音できます。

ボイスレコーディング

- 1 録音を開始されるまで REC キーを押します。
 - メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「録音」を選び、M キーを押しても録音できます。



- 録音を開始されます。



- 本機の内蔵マイクは、表示部の上部にあります。したがって、ボイスレコーディング中は、表示部の内蔵マイクをふさがないでください。

- 3 録音を止めるには、M キーを押します。
 - 録音を始める前の表示やモードに戻ります。



重要

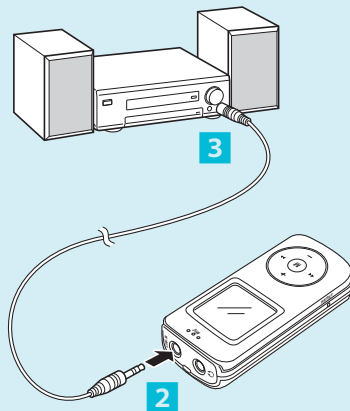
- バッテリーの残量が少ないとき、録音しようとするとき「Low Battery」が表示されて録音できないことがあります。

ヒント

- 録音されたデータは、MP3 形式のデータとして保存されます。
- 録音する音源の音量に合わせて、入力レベルを変更できる録音レベル設定機能があります (P.78)。
- 録音されたファイルは V00X.MP3 というファイル名になります。
メインメニューの録音データ再生にて再生するファイルを見つけて再生してください (P.37)。
- 録音したデータ (MP3 形式データ) も、音楽データと同様に色々な再生ができます。
- 本機のスピーカーを使って再生しているときは、ピーというハウリングを防止する為に、録音の開始時にスピーカーからの音は自動的に消されます。

ライン入力**準備**

- 1 接続をする前に本機とお使いになるオーディオ機器の電源を切ります。
- 2 ライン入力ケーブルのプラグと本機の LINE in 端子を接続します。
- 3 ライン入力ケーブルのプラグをお使いになるオーディオ機器のヘッドホン端子に接続します。
- 4 本機とお使いになるオーディオ機器の電源を入れます。

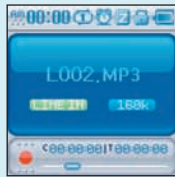
**ヒント**

- オーディオ機器のヘッドホン端子の形状が合わない場合は、市販の変換アダプタをご利用ください。

ライン入力 of 録音

1 お使いになるオーディオ機器にて、録音したい曲を再生一時停止にします。

2 録音が始まるまで REC キーを押します。
●録音を開始されます。



3 オーディオ機器の再生を開始します。

4 録音を止めるには、M キーを押します。

ヒント

- 録音されたデータは、MP3 形式のデータとして保存されます。
- 録音されたファイルは L00X.MP3 というファイル名になります。
メインメニューの録音データ再生にて再生するファイルを見つけて再生してください(P.37)。
- 録音した曲(MP3 形式データ)も、音楽データと同様に色々な再生ができます。

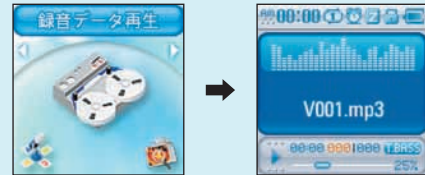
注意

- 入力する音楽の音量が大きい場合は録音したファイル再生時にノイズが発生する場合があります。ノイズが発生する場合は、入力する音量を下げてから録音してください。
また、録音する曲に合わせて、入力レベルを変更できる録音レベル設定機能があります(P.78)

録音データの再生

ボイスレコーディングやライン入力による録音、また FM 放送を録音したデータを再生します。

1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押し、「録音データ再生」を選び、M キーを押します。
●録音データ再生の表示になります。



2 ◀◀または▶▶ キーを押し、再生したい録音データを探します。

3 ▶|| キーを押します。
●録音データの再生が始まります。

4 再生を停止する場合は、▶|| キーを押します。

5 他の録音データを再生するときは、手順 2 から 4 を繰り返します。

ヒント

- 録音データは、下記の順で表示されます。
FM 放送の録音 (F00x.MP3) → ライン入力 (L00x.MP3) → ボイスレコーディング (V00x.MP3)
- 録音されたデータは、音楽再生と同様に色々な再生方法や音質を選ぶことができます。
- ナビゲーションを使って録音データは再生できません。ナビゲーションでは、それぞれのフォルダーは、次のように表示されます。
FM 放送の録音データ：「FM」、ライン入力：「LINE-IN」、ボイスレコーディング：「VOICE」。

応用の操作

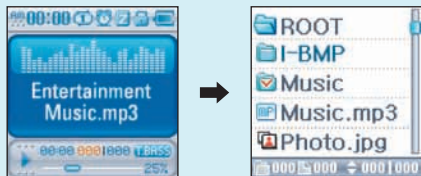
気に入った曲のプログラム(プレイリスト)

プログラム方法

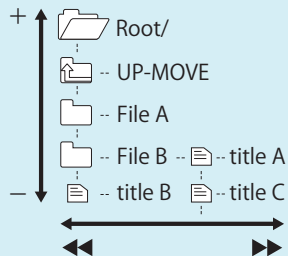
本機にダウンロードした複数の音楽データの中から、気に入った曲またはフォルダーをリストにして演奏することができます。
まずは以下の手順でプレイリストを作成してください。

- ヒント** ● プレイリストを作成するには、複数の音楽データがダウンロードされている必要があります。

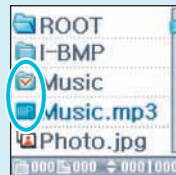
1 音楽データを表示し、M キーを短く押します。



2 + / - キーまたは << / >> キーを押し、プレイリストに登録したい音楽データまたはフォルダーを選びます。



- 3** WOW キーを押します。
● フォルダーを選んだときはフォルダーのアイコンにレ印が付きます。曲を選んだときは、ファイル名の最初のフォーマット形式が反転します。

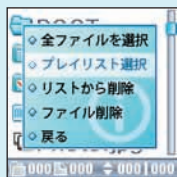


- 4** 手順 2 から 3 を繰り返し、プレイリストに曲を登録していきます。
● ナビゲーションから音楽再生に戻る場合は、M キーを押します。
● ナビゲーションからメインメニューに戻る場合は、<< キーを押し、順次リストを戻り、メインメニューまでに戻ります。
- 5** プレイリストに登録された曲を解除するには、手順 2 にて、再び WOW キーを押します。
● フォーマット形式の反転が元に戻ります。フォルダーの場合はレ印が消えます。

- ヒント** ● プログラムリストの設定は、フォルダーを超えて設定できます。
● プレイリスト機能は、ボイスレコーディングデータ、ライン入力データ、FM ラジオ録音データ、TEXT データでは利用できません。
これらのデータを選んで WOW キーを押しても登録されません。
● 本機のリセットを行なうとプレイリストは削除されます。

プレイリストの再生

- 1 音楽データを表示し、M キーを押します。
 - ナビゲーションが表示されます。
- 2 REC キーを押します。
 - ナビゲーションのメニューが表示されます。
- 3 +または-キーを押し、「プレイリスト選択」を選び、M キーを押します。
 - プレイリストに登録されている最初の音楽データが表示されます。



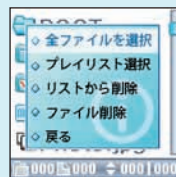
- 4 ◀◀または▶▶ キーを押し、再生したい音楽データを選びます。
- 5 ▶▶ キーを押します。
 - 再生が始まります。

ヒント

- プレイリストに1曲も音楽データが登録されていない時に、「プレイリスト選択」を選ぶと「No Files」が表示されます。
- ナビゲーションでプレイリストに登録されている音楽データを選んで、▶▶ キーを押してもプレイリストは再生されます。

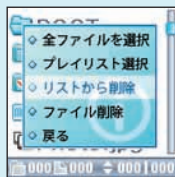
全曲の再生

- 1 音楽データを表示し、M キーを押します。
 - ナビゲーションが表示されます。
- 2 REC キーを押します。
 - ナビゲーションのメニューが表示されます。
- 3 +または-キーを押し、「全ファイルを選択」を選び、M キーを押します。
 - 一番最初の音楽データが表示されます。



プレイリストの削除

- 1 音楽データを表示し、M キーを押します。
●ナビゲーションが表示されます。
- 2 REC キーを押します。
●ナビゲーションのメニューが表示されます。
●プレイリストに登録されている音楽データやフォルダーを表示させる必要はありません。
- 3 +または-キーを押し、「リストから削除」選び、M キーを押します。
●プレイリストが削除され、一番最初の音楽データが表示されます。
●プレイリストに選ばれていたフォルダーのアイコンに付いていたレ印が消えます。プレイリストに選ばれ、フォーマット形式の反転していたアイコンが、元に戻ります。



-  **ヒント** ●プレイリストを削除しても、元の音楽データは削除されません。

写真を見るには(イメージビューワ)


パソコンから写真データをダウンロードすることで、本機を使ってイメージデータ(写真)を見ることができます。


見ることの出来るデータは、拡張子が .jpg の RGB イメージデータのみです。

準備

パソコンの写真編集ソフトを使って、ご覧になりたい写真を、拡張子 .jpg の RGB イメージデータにします。

- 1 本機とパソコンを接続します。(P.11)
- 2 作成したデータを本機の PHOTO フォルダの中へコピーします。
●他のフォルダに入れると、写真を見ることはできません。
- 3 本機をパソコンから切り離します。(P.12 ~ P.13)

-  **ヒント** ●拡張子とは、ファイル名の「.(ピリオド)」で区切られた一番右側の半角文字の部分です。例 siren.bmp の場合：siren = ファイル名、. = ピリオド、jpeg = 拡張子
●拡張子が表示されていない場合は、Windows XP では「文章を読むには(テキストビューワ)」の「準備」(P.46)のヒントをご覧ください。

-  **重要** ●写真のデータは、拡張子が .jpg の RGB イメージデータのみ表示できます。

写真を見る

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶キーを押し、「ビュー」を選び、Mキーを押します。

- 2 ビューメニューにて、◀◀または▶▶キーを押し、「イメージビュー」を選びます。



- 3 Mキーを押します。
●見ることの出来るイメージデータのリストが表示されます。



- 4 +または-キーを使って、ご覧になりたいイメージデータ(写真)を選びMキーを押します。
●写真が表示されます。
●写真が表示しているときに▶▶キーを押すとスライドショーが始まります。自動的に写真が切り換わります。

- 5 ◀◀または▶▶キーを押して、他の写真を表示します。

- 6 Mキーを押し、イメージデータのリスト表示に戻ります。

- 7 ◀◀キーまたはWOWキーを押し、ビューメニューに戻ります。

- ✓注意 ●音楽を再生した状態で、イメージデータリストを選択すると音楽は停止します。イメージ画像を見ながら音楽を聴くことはできません。

文章を読むには(テキストビューワ)

パソコンからテキストデータをダウンロードすることで、本機を使ってテキストデータ(文章)を読むことができます。

読むことの出来るデータは、書式無しの拡張子が.txtのテキストデータのみです。

準備

- 1 パソコンのワープロソフトを使って、お読みになりたい文章を拡張子が.txtのテキストデータにします。
- 2 本機とパソコンを接続します。(P.11)
- 3 作成したデータを本機のTEXTフォルダーの中へコピーします。
●他のフォルダーに入っている、テキストデータは読むことはできません。
- 4 本機をパソコンから切り離します。(P.12～P.13)

ヒント

- 拡張子とは、ファイル名の「.(ピリオド)」で区切られた一番右側の英数字部分です。例 siren.txt の場合：siren = ファイル名、. = ピリオド、txt = 拡張子
- 拡張子はお使いになるパソコンの設定により表示されない場合があります。拡張子が表示されていない場合は、Windows XP では次のようにすると、拡張子が表示されます。
スタート→コントロールパネル→デスクトップの表示とテーマ→フォルダオプション→表示の順で「登録されている拡張子は表示しない」を選びます。
「登録されている拡張子は表示しない」のチェックマークをクリックして、チェックマークを外します。適用をクリックした後、OKをクリックしウィンドウを閉じます。

重要

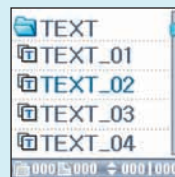
- DOC や RTF 形式で作成された文章の拡張子だけを「.txt」に変更しても文章は、正しく表示されないことがあります。

文章を読む

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押して、「ビューワ」を選び、M キーを押します。
- 2 ビューワメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押して、「テキストビューワ」を選びます。



- 3 M キーを押します。
●読むことの出来るテキストデータのリストが表示されます。



- 4 +または-キーを使って、お読みになるテキストデータ(文章)を選び、M キーを押します。
●文章が表示されます。
- 5 +または-キーを使って、ページを進めたり、戻したりします。
●▶キーを押すと、自動ページ送りになります。自動ページ送り中でも、+または-キーを使って、ページを進めたり、戻したりできます。

6 他の文章を読むときは、M キーを押し、テキストデータのリスト表示戻り、手順 2 から 4 を繰り返します。

7 ◀◀ キーまたは WOW キーを押し、ビューワメニューに戻ります。



- テキストデータリストに戻り、前に読んでいた文書を再び選ぶと「記憶された位置から Yes/No」と表示されます。
前に読んでいたページから始める場合は、◀◀ または ▶▶ キーを押して、YES を選んで ▶▶ キーを押してください。

▶ テレビをリモコン操作する

本機のリモコン機能を使って、お使いのテレビの電源、音量、チャンネルを操作できます。

■ 準備

本機をリモコンとして、お使いいただく前に、本機にお使いになるテレビのリモコンコードを入れます。

- 1** パソコンを使って、SIREN Web サイトよりお使いになるテレビのリモコンコードをダウンロードします。
- 2** 本機とパソコンを接続します。(P.11)
- 3** 本機内に「IR」というフォルダーを作ります。
- 4** 先にダウンロードしたリモコンコードを IR フォルダーに入れます。
 - 他のフォルダーに入れると、リモコン操作はできません。
- 5** 本機をパソコンから切り離します。(P.12 ~ P.13)



- 詳細は SIREN Web サイトのサポートページ [www.sirenjp.com/support/] をご覧ください。

リモコンを操作する

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押して、「エンターテインメント」を選びます。
- 2 M キーを押します。
●エンターテインメントのリストが表示されます。
- 3 + / - キーまたは◀◀/▶▶ キーを使って、「リモコン」を選びます。

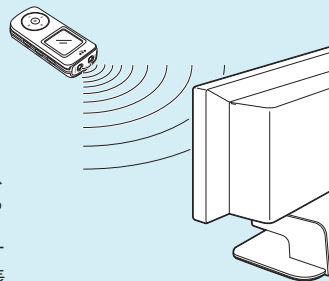


- 4 M キーを押します。
●リモコン画面が表示されます。



- 5 REC キーを押します。
●テレビメーカーのリストが表示されます。
- 6 + または - キーを使って、お使いのテレビのメーカーの設定コードを選びます。
- 7 M キーを押します。
●リモコン画面に戻ります。

- 8 各キーを押して、テレビを操作します。
●M キー：電源スイッチ、
REC キー：メーカー選択、
+ キー：音量上げる、
- キー：音量下げる、
◀◀ キー：チャンネル下げる、
▶▶ キー：チャンネル上げる
- 9 ▶▶ キーを押して、エンターテインメントのリスト表示戻ります。



- ヒント** ● 同じメーカーでも、いくつかの設定コードがあります。手順の6から8を行って、お使いのテレビ合わせてください。
- 一度設定したメーカーは、電源切っても記憶されています。再度お使いになるときは、手順5から7を行う必要はありません。
- 重要** ● お使いのテレビによっては、本機のリモコンが使えない場合があります。
- 本体赤外線送信部をテレビに向けて操作してください。

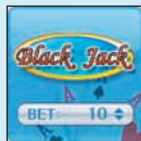
ゲームをする

本機のゲーム機能を使って、トランプのブラックジャックができます。ブラックジャックとは、カードを引いて、その数の合計が 21 に近い方が勝ちです。

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押して、「エンターテインメント」を選びます。
- 2 M キーを押します。
●エンターテインメントのリストが表示されます。
- 3 + / - キーまたは ◀◀▶▶ キーを使って、「Black Jack」を選びます。



- 4 M キーを押します。
●自分の持ち点を掛ける画面が表示されます。最初の持ち点は 10 です。
- 5 + または - キーを押して、掛ける持ち点を選びます。
- 6 M キーを押します。
●カード 2 枚配られている Black Jack の画面表示になります。
- 7 カードを引く場合は、◀◀または▶▶ キーを押して、HIT を選び ▶▶ キーを押します。
●カードが配られます。再度カードを引く時は、この手順を繰り返してください。



- 8 良ければ、◀◀または▶▶ キーを押して、STAY を選び M キーを押します。
●勝ち (YOU WIN!!) または負け (YOU LOSE!) の表示が出ます。
●カード引いて 21 を越えた場合は、STAY を選ばなくても、負け (YOU LOSE!) の表示が出ます。
- 9 続ける場合は、◀◀または▶▶ キーを押して、YES を選んで M キーを押します。
- 10 エンターテインメントのリストに戻る場合は、◀◀または▶▶ キーを押して、NO を選んで M キーを押します。



- ヒント** ●手順 8 で、◀◀または▶▶ キーを押して、DOUBLE を選び、M キーを押すと、掛ける持ち点が 2 倍になり、STAY したのと同じ状態になります。
●本機の電源を切ったり、他のメニューに移動しても持ち点は記憶されています。

▶ バイオリズムを調べる

本機のバイオリズム機能を使って、登録された生年月日から、希望の日のバイオリズム調べることができます。

- 1 メインメニューにて、◀◀または▶▶ キーを押して、「エンターテインメント」を選びます。
- 2 M キーを押します。
●エンターテインメントのリストが表示されます。
- 3 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「バイオリズム」を選びます。



- 4 M キーを押します。
●生年月日が入力されていない場合は、生年月日の入力表示になります。
●生年月日が入力されている場合は、バイオリズム表示画面になります。
● = 健康状態、 = 感情、 = 知性の状態を表します。
●◀◀または▶▶ キーを押して、入力する桁を選び、+ または - キーを使って値を変更し、M キーを押します。



- 5 ◀◀または▶▶ キーを押して、バイオリズムを調べたい日を選択します。

- 6 エンターテインメントのリストに戻る場合は、M キーを押します。

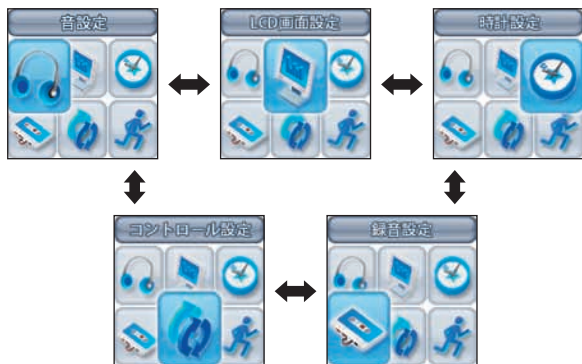
- ✓ **注意** ●メインメニューの時計設定にて「時間 / デート」(P.72 参照)の設定を行っていないと「today」の表示が当日の表示となりません。あらかじめ設定しておいてください。
- ✎ **ヒント** ●一度生年月日を登録すると、電源を切っても記憶されています。

設定を変更するには

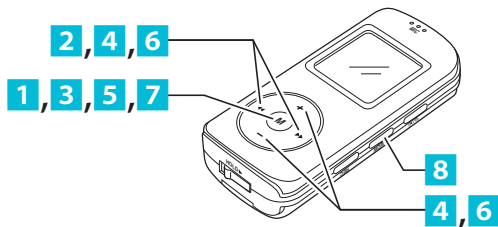
セッティングメニューを使うと、本機の再生方法や、音質などの様々な設定を変更できます。



- セッティングメニューでは、縦に表示される項目は＋または－キーを押して選びます。横に表示される項目は◀または▶キーを押して選びます。



セッティングメニューの操作



- 1 メインメニューが表示されるまで M キーを押します。
- 2 ◀または▶ キーを押し、「設定メニュー」を選びます。
- 3 M キーを押します。
 - 設定メニューが表示されます。



- 4 ＋／－キーまたは◀▶キーを押し、設定を行うメニューを選びます。
- 5 M キーを押します。
 - 選んだ項目の設定内容が表示されます。
 - 選んだ項目により、さらに項目を選ぶ場合があります。
- 6 ＋／－キーまたは◀▶キーを押し、設定する項目や値を選びます。
- 7 M キーを押します。
 - 選んだ項目や値が設定され、セッティングメニュー表示に戻ります。
- 8 WOW キーを押します。
 - メインメニューに戻ります。
 - ◀または▶ キーを押し、「前のメニューに戻る」を選び M キーを押すと、順次前の項目に戻っていきます。
 - 他のメニュー項目を選ぶ場合は、手順 4 から行ってください。

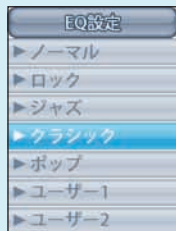
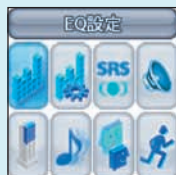
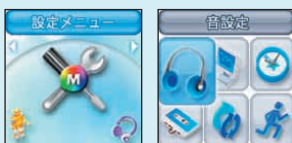
音に関する設定を変更する

音楽を再生しているときの音質など音に関する設定を本機の設定メニューで変更できます。

音質を切り換える

再生する音楽データの音質を、その音楽データの内容に合わせて切り換えることができます。5種類の音質と2種のユーザー設定、3種のSRS設定の中から選ぶことができます。

- 1 メインメニューが表示されるまでMキーを押します。
- 2 ◀◀または▶▶キーを押して、「設定メニュー」を選びます。
- 3 Mキーを押します。
●設定メニュー画面が表示されます。
- 4 +/−キーまたは◀◀/▶▶キーを使って、「音設定」を選びます。
- 5 Mキーを押します。
●音設定のメニュー画面が表示されます。
- 6 +/−キーまたは◀◀/▶▶キーを使って、「EQ設定」を選びます。
- 7 Mキーを押します。
●音質のリストが表示されます。
- 8 +/−キーまたは◀◀/▶▶キーを使って、音質を選び、Mキーを押して決定します。
●音設定のメニュー画面に戻ります。



- ここで設定した内容は、音楽データ再生モードと録音データ再生モード時に反映されます。
- 音楽データ再生モードや録音データ再生モード時、WOWキーを押しても音質は切り換えられません。

- 重要! 音楽データ再生モード時や録音データ再生モード時に、SRSの設定(SRS、SRS TRUBASS、WOW)を選んでいるときは、「SRS ON」の表示が出て、このメニューは使えません。一度音楽データ再生モード時や録音データ再生モードに戻って、SRSの設定を解除してください。

音質をバンドごとに設定する

各音質のバンド(周波数)ごとに変更することができます。

- 1 「音質を切り換える」(P.58)の手順1から5まで行います。
- 2 +/−キーまたは◀◀/▶▶キーを使って、「ユーザーEQ」を選びます。
- 3 Mキーを押します。
●音質の各バンドを設定する画面が表示されます。
- 4 ◀◀または▶▶キーを使って、設定を変更するバンド(周波数帯)また音質を選びます。
●音質の横に▶印がある時に音質の種類を+または−キーで変更できます。
- 5 +または−キーを使って、設定値または音質を変更します。
- 6 設定が終わったら、Mキーを押します。
●音設定のメニュー画面に戻ります。



SRS の設定を変更する

音質として SRS 設定を選んだときの設定を変更できます。

- 1 「音質を切り換える」(P.58)の手順 1 から 5 まで行います。

- 2 + / - キーまたは ◀▶ キーを使って、「SRS 設定」を選びます。

- 3 M キーを押します。
 - SRS の設定メニュー画面が表示されます。

- 4 + / - キーまたは ◀▶ キーを使って、設定を変更する項目を選び、M キーを押します。
 - 選んだ項目の設定変更表示になります。

- 5 + / - キーまたは ◀▶ キーを使って設定を変更します。

- FOCUS 調節：SRS 効果の強弱を選択します。

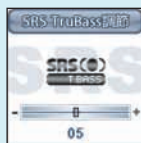
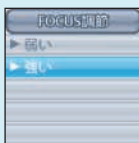
TruBass 調節：TruBass の低音効果を 0 から 10 のレベルで調整します。

WOW Volume 調節：SRS WOW のサラウンド効果を 0 から 10 のレベルで調整します。

スピーカー調節：SRS の効果をもとめるために、お使いになるイヤホンやスピーカーにあった設定を 00 から 05 のレベルで調整します。

00 = イヤホン小、01 = イヤホン大 (通常この設定です)、02 = ヘッドホン、03 = スピーカー小、04 = スピーカー中、05 = スピーカー大。

- 6 M キーを押します。
 - SRS の設定メニュー画面に戻ります。



- 7 M キーを押します。
 - 音設定のメニュー画面に戻ります。

キーを押したときの音の設定

本機のキーを押した時に、「ピッ！」という音を出したり消したりすることができます。

初期設定は音が出るようになっています。

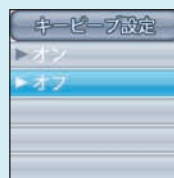
- 1 「音質を切り換える」(P.58)の手順 1 から 5 まで行います。

- 2 + / - キーまたは ◀▶ キーを使って、「キービープ設定」を選びます。

- 3 M キーを押します。
 - キービープの設定画面が表示されます。

- 4 + / - キーまたは ◀▶ キーを使って、「オン」または「オフ」を選びます。
 - 「オン」を選ぶとキーを押したときに音が出ます。

- 5 M キーを押します。
 - 音設定のメニュー画面に戻ります。



スピーカーの設定

本機の内蔵スピーカーの設定を切り換えることができます。

- 1 「音質を切り換える」(P.58)の手順 1 から 5 まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「スピーカー設定」を選びます。
- 3 M キーを押します。
●スピーカーの設定画面が表示されます。
- 4 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「オン」または「オフ」を選びます。
●「オン」を選ぶとスピーカーから音が出ます。
- 5 M キーを押します。
●音設定のメニュー画面に戻ります。




再生する速度の切り換え

音楽データや録音データを再生するときに、その再生速度を変更することができます。ゆっくりとした再生もできますので録音していた会議の議事録を作るときなどに便利です。

- 1 「音質を切り換える」(P.58)の手順 1 から 5 まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「再生速度設定」を選びます。
- 3 M キーを押します。
●再生速度の設定画面が表示されます。
- 4 ◀◀ または ▶▶ キーを使って、再生速度を設定します。
●「100」が通常速度です。
「100」を越えると再生速度が速くなります。
「100」を切ると再生速度が遅くなります。
- 5 M キーを押します。
●音設定のメニュー画面に戻ります。



-  **ヒント** ●設定した再生速度は、設定後に電源をオフにすると設定は消えます。

二人で音楽を聴く(デュアルイヤホン)

LINE-IN 端子をもう一つイヤホン接続端子へ変更できます。この機能を使うと同時に二人で音楽を楽しむことができます。

- 1 「音質を切り換える」(P.58)の手順 1 から 5 まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀▶ キーを使って、「デュアルイヤホン」を選びます。
- 3 M キーを押します。
●デュアルイヤホンの設定画面が表示されます。
- 4 + / - キーまたは ◀▶ キーを使って、「オン」または「オフ」を選びます。
●「オン」を選ぶと LINE-IN 端子からも音楽を聴くことができます。
- 5 M キーを押します。
●音設定のメニュー画面に戻ります。



- ✓ **注意** ● 利用するイヤホンによっては、二つ接続した場合に、イヤホン出力が小さくなる場合があります。

表示に関する設定を変更する

表示画面のバックライトを点灯する時間やコントラスト、再生中の表示など表示に関する設定を本機の設定メニューで変更できます。

バックライトの点灯時間を設定する

何も操作しないときのバックライトの点灯時間を変更できます。

- 1 メインメニューが表示されるまで M キーを押します。
- 2 ◀または▶キーを押して、「設定メニュー」を選びます。
- 3 M キーを押します。
●設定メニュー画面が表示されます。
- 4 + / - キーまたは ◀▶ キーを使って、「LCD 画面設定」を選びます。
- 5 M キーを押します。
●LCD 画面設定のメニュー画面が表示されます。
- 6 + / - キーまたは ◀▶ キーを使って、「バックライト調節」を選びます。
- 7 M キーを押します。
●バックライト調節の選択画面が表示されます。
- 8 ◀または▶キーを使ってバックライトが点灯する時間(秒)を選びます。
●「ON」を選ぶと常にバックライトは点灯します。
- 9 M キーを押します。
●LCD 画面設定のメニュー画面に戻ります。



- 💡 **ヒント** ● バックライトの設定は、設定後に電源をオフにすると設定が保持されます。

■ コントラストを調節する ■

表示のコントラストを調節することができます。

- 1 「バックライトの点灯時間を設定する」(P.65)の手順 1 から 5 まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「コントラスト調節」を選びます。
- 3 M キーを押します。
● コントラスト調節の画面が表示されます。
- 4 ◀◀ または ▶▶ キーを使って、コントラストを調節します。
● 数字が大きくなると、明るくなります。
- 5 調節が終わったら、M キーを押します。
● LCD 画面設定のメニュー画面に戻ります。



ヒント

- コントラストの設定は、設定後に電源をオフにすると設定が保持されます。

■ ID3 タグで表示する ■

再生される曲の表示を ID3 タグとファイル名とで切り換えることができます。

- 1 「バックライトの点灯時間を設定する」(P.65)の手順 1 から 5 まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「ID3 設定」を選びます。
- 3 M キーを押します。
● ID3 設定のメニュー画面が表示されます。
- 4 + または - キーを使って、「ID3 表示」または「File Name」を選択します。
● 「ID3 表示」を選ぶと ID3 タグのタイトル名の表示となります。
「File Name」を選ぶとファイル名で表示されます。
- 5 M キーを押します。
● LCD 画面設定のメニュー画面に戻ります。



注意

- ID3 タグ情報のない音楽データは、ID3 のタグは表示されません。

歌詞を表示する

曲の再生に合わせて、歌詞を表示させることができます。

重要

- 歌詞を表示させるためには、SIREN Web サイトのサポートページから SIREN LDB Manager をパソコンにダウンロードしてください。
- SIREN LDB Manager を使って作った歌詞データを本機に転送(コピー)する必要があります。

- 1 「バックライトの点灯時間を設定する」(P.65)の手順 1 から 5 まで行います。

- 2 + / - キーまたは ◀▶ キーを使って、「歌詞表示」を選びます。

- 3 M キーを押します。
 - 歌詞表示の選択画面が表示されます。

- 4 + または - キーを使って、「オン」または「オフ」を選択します。
 - 「オン」を選ぶと、歌詞表示になります。
 - 「オフ」を選ぶと、歌詞表示にはなりません。

- 5 M キーを押します。
 - LCD 画面設定のメニュー画面に戻ります。



ヒント

- 歌詞データの作り方は、SIREN Web サイトのサポートページ [www.sirenjp.com/support/] をご覧ください。
- この機能を「ON」にして歌詞のある音楽データを再生するとスクリーンセ이버機能は働きません。

文字のスクロール速度を設定する

音楽再生時に文字がスクロールする速度を変更できます。長いタイトル曲を再生する時にスクロール速度を速くすると読みやすくなります。

- 1 「バックライトの点灯時間を設定する」(P.65)の手順 1 から 5 まで行います。

- 2 + / - キーまたは ◀▶ キーを使って、「スクロール速度設定」を選びます。

- 3 M キーを押します。
 - スクロール速度設定の選択画面が表示されます。

- 4 ◀ または ▶ キーを使って速度を選択します。
 - 「5x」を選ぶと、一番速くスクロールされます。
 - 「Nor」を選ぶと、通常の速さでスクロールされます。

- 5 M キーを押します。
 - LCD 画面設定のメニュー画面に戻ります。



■ スクリーンセイバーの設定

バックライトの点灯時間の設定により、表示を自動的に消すことができますが、表示が消えると同時にスクリーンセイバーを表示させる時間を設定することができます。

- 1 「バックライトの点灯時間を設定する」(P.65)の手順1から5まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀▶ キーを使って、「スクリーンセイバー」を選びます。
- 3 M キーを押します。
●スクリーンセイバー設定時間の画面が表示されます。
- 4 ◀◀ または ▶▶ キーを使って、スクリーンセイバーが開始してから終了するまでの時間(秒)を選択します。
●「ON」を選ぶと、スクリーンセイバーが表示している間キー操作をしない限り常にスクリーンセイバーが表示されます。
「OFF」を選ぶと、スクリーンセイバーは表示しません。
- 5 M キーを押します。
●LCD 画面設定のメニュー画面に戻ります。



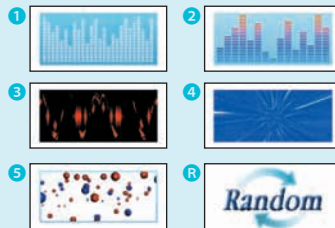
✓ **注意** ●「ON」を選びますと、常にスクリーンセイバーが表示されますので、バッテリーの消費が速くなります。長時間ご利用になる場合は、「ON」以外の設定をお勧めいたします。

✎ **ヒント** ●歌詞を表示している間は、スクリーンセイバーは働きません。

■ 再生する音楽をビジュアル表示する

再生される曲の強さや周波数をビジュアル表示することができます。

- 1 「バックライトの点灯時間を設定する」(P.65)の手順1から5まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀▶ キーを使って、「ビジュアル設定」を選びます。
- 3 M キーを押します。
●ビジュアル設定のメニュー画面が表示されます。
- 4 ◀◀ または ▶▶ キーを使って、ビジュアル設定を選択します。



- 5 M キーを押します。
●LCD 画面設定のメニュー画面に戻ります。

✎ **ヒント** ●「ランダム」を選ぶと、5種類のビジュアル表示が、音楽データが変わるたびにランダムに表示します。

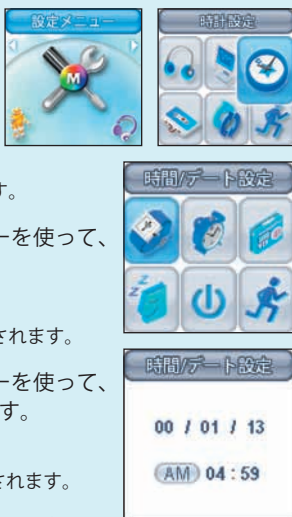
時計や時間に関する設定を変更する

設定した時間に FM 放送を録音したり、アラームを鳴らしたりさせる設定ができます。

現在の日時を設定する

設定した時間に FM 放送を録音したり、アラームを鳴らしたりするには、まず時計を設定する必要があります。ここで設定された時間が音楽再生モードなどでも表示されます。

- 1 メインメニューが表示されるまで M キーを押します。
- 2 ◀◀または▶▶キーを押して、「設定メニュー」を選びます
- 3 M キーを押します。
●設定メニュー画面が表示されます。
- 4 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「時計設定」を選びます。
- 5 M キーを押します。
●時計設定のメニュー画面が表示されます。
- 6 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「時間 / デート設定」を選びます。
- 7 M キーを押します。
●時間 / デート設定の画面が表示されます。
- 8 ◀◀または▶▶キーを使って、設定を変更する箇所を選びます。
●選ばれた箇所は点滅します。
- 9 + / - キーを使って、設定を変更します。



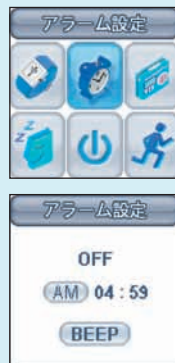
- 10 手順の 8 と 9 を繰り返し現在の日時を設定します。

- 11 設定が終わったら、M キーを押します。
●時計設定のメニュー画面に戻ります。

設定した時間にアラームを鳴らす

時間を設定してアラームを鳴らすことができます。

- 1 「現在の日時を設定する」(P.72) の手順 1 から 5 まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「アラーム設定」を選びます。
- 3 M キーを押します。
●アラーム設定の画面が表示されます。
- 4 ◀◀または▶▶キーを使って、設定を変更する箇所を選びます。
●選ばれた箇所は点滅します。
- 5 + / - キーを使って、設定を変更します。
●「ON」を選ぶと、設定した時間になるとアラームが鳴ります。
●「OFF」を選ぶと、時間を設定してもアラームは鳴りません。
- 6 設定が終わったら、M キーを押します。
●時計設定のメニュー画面に戻ります。



- ヒント** ●アラーム設定は、電源オン時または電源オフ時にアラームを鳴らすことができます。

設定した時間に FM 放送を録音する

時間を設定して FM 放送を録音することができます。設定した時間は、電源を切っても記憶されていますので、毎日同じ放送を録音するときに、設定をしなおす必要がありません。

この機能は、本機の電源がオンの場合でもオフの場合でも働きます。

- 1 「現在の日時を設定する」(P.72)の手順 1 から 5 まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀▶ キーを使って、「FM 録音予約」を選びます。
- 3 M キーを押します。
● FM 録音予約の設定画面が表示されます。
- 4 ◀ または ▶ キーを使って、設定を変更する箇所を選びます。
● 選ばれた箇所は点滅します。
- 5 + / - キーを使って、設定を変更します。
● 「ON」を選ぶと、設定した時間になると FM 録音が始まります。
● 「OFF」を選ぶと、時間を設定しても FM 録音は始まりません。
● 周波数は 1MHz と 0.1MHz の単位で変更が可能です。
- 6 設定が終わったら、M キーを押します。
● 時計設定のメニュー画面に戻ります。



- ✓ **注意** ● この機能が電源オンの状態で働いた後は、動作前のモードに戻ります。
電源がオフの状態では働いた後は、音楽再生モードになります。

- ✎ **ヒント** ● パワーセービング機能と組み合わせると、電源オフ状態からの FM 放送の留守録音としてご利用になれます。(FM 放送を受信するためにイヤホンの接続が必要となります。)

設定した時間が過ぎると電源を切る(スリープタイマー)

設定した時間が経過すると電源を自動的に切ることができます。

- 1 「現在の日時を設定する」(P.72)の手順 1 から 5 まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀▶ キーを使って、「Sleep Timer 設定」を選びます。
- 3 M キーを押します。
● Sleep Timer 設定の画面が表示されます。
- 4 ◀ または ▶ キーを使って、設定する時間(分)を選びます。
● 「OFF」を選ぶと、スリープタイマーは動きません。
- 5 M キーを押します。
● 時計設定のメニュー画面に戻ります。



- ✎ **ヒント** ● この機能は、再生している状態で働きます。停止状態では働きません。
● 音楽データや録音データの再生中でも、設定した時間が経過すると電源は切れます。
● スリープタイマー動作後は、設定が「OFF」に戻ります。

操作がないと自動で電源を切る(パワーセービング)

音楽データや録音データの一時停止中に、設定された時間内に何も操作が行われないと自動的に電源を切ることができます。

- 1 「現在の日時を設定する」(P.72)の手順 1 から 5 まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「パワーセービング」を選びます。
- 3 M キーを押します。
● パワーセービングの画面が表示されます。
- 4 ◀◀ または ▶▶ キーを使って、設定する時間(分)を選びます。
● 「OFF」を選ぶと、パワーセービングは働きません。
- 5 M キーを押します。
● 時計設定のメニュー画面に戻ります。



ヒント

- 音楽データや録音データの再生中には、パワーセービングは働きません。
- バッテリーの消費を節約するために、2 (分) 以下に設定することをお勧めします。

録音する品質や条件を変更する

FM 放送の録音や本機のマイク、ライン入力を使って録音するときの音質を設定することができます。また、ライン入力を使って録音するときに、無音部分を検知して自動的に録音トラックを作成することができます。

録音する品質を変更する

FM 放送の録音や本機のマイク、ライン入力を使って録音するときの音質(ビットレート)の設定を変更できます。

- 1 メインメニューが表示されるまで M キーを押します。
- 2 ◀◀ または ▶▶ キーを押して、「設定メニュー」を選びます。
- 3 M キーを押します。
● 設定メニュー画面が表示されます。
- 4 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「録音設定」を選びます。
- 5 M キーを押します。
● 録音設定のメニュー画面が表示されます。
- 6 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「録音品質設定」を選びます。
- 7 M キーを押します。
● 録音品質設定の画面が表示されます。



- 8 +または-キーを使って、設定するビットレートを選びます。
 - ビットレートの値が小さいと、データ量は小さくなりますが、音質は悪くなります。
 - ビットレートの値が大きいと、データ量は大きくなりますが、音質は良くなります。
- 9 設定が終わったら、M キーを押します。
 - 録音設定のメニュー画面に戻ります。

録音する際の入力レベルを設定する

録音しようとする音が大きすぎると、録音された音が歪んだり、ノイズになって聞こえることがあります。このような場合に入力される音のレベルを下げて録音することができます。

また、入力される音が小さいために再生した録音データの音が小さい場合には、入力される音のレベルを上げて録音することができます。

- 1 「録音する品質を変更する」(P.77)の手順1から5まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「録音レベル設定」を選びます。
- 3 M キーを押します。
 - 録音レベル設定の画面が表示されます。
- 4 ◀◀ または ▶▶ キーを使って、設定を変更します。
 - 数値が大きくなると、録音する音レベルは上がります。
 - 数値が小さくなると、録音する音レベルは下がります。
- 5 設定が終わったら、M キーを押します。
 - 録音設定のメニュー画面に戻ります。



オートシンクロ設定を変更する

ライン入力を使って録音しようとする時に、音の無音部分を検知して自動的に録音を停止したり開始したりするオートシンクロ機能があります。設定した時間以上に無音部分が連続すると録音を一時停止して新しい録音トラックを作成します。再度音が入力されると録音を再開します。この部分を検知する時間を変更できます。

- 1 「録音する品質を変更する」(P.77)の手順1から5まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「Auto Sync 設定」を選びます。
- 3 M キーを押します。
 - Auto Sync 設定の画面が表示されます。
- 4 ◀◀ または ▶▶ キーを使って、オートシンクロを設定する時間(秒)を変更します。
 - 「0」を設定すると、オートシンクロ機能は働きません。
- 5 設定が終わったら、M キーを押します。
 - 録音設定のメニュー画面に戻ります。



注意

- 音楽の曲と曲の間に無音部分がない音楽の場合、録音トラックが作成できない場合があります。また、1曲の音楽の中に無音に近い音の小さい部分がある音楽の場合、録音トラックが作成されてしまうことがあります。

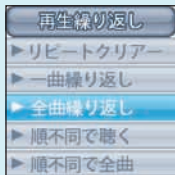
キー操作やその他設定を変更する

音楽の再生方法やキーを押したときの操作を変更したり、表示される言語を変更することができます。

再生方法を選択する

音楽データや録音データを再生するときのリピート方法やランダムに再生する方法を選択できます。

- 1 メインメニューが表示されるまで M キーを押します。
- 2 ◀◀または▶▶キーを押して、「設定メニュー」を選びます。
- 3 M キーを押します。
●設定メニュー画面が表示されます。
- 4 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「コントロール設定」を選びます。
- 5 M キーを押します。
●コントロール設定のメニュー画面が表示されます。
- 6 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「再生繰り返し」を選びます。
- 7 M キーを押します。
●再生繰り返しのメニュー画面が表示されます。
- 8 + または - キーを使って、再生したい繰り返し方法を選びます。
- 9 設定が終わったら、M キーを押します。
●コントロール設定のメニュー画面に戻ります。



- ヒント** ●音楽データ再生や録音データ再生モードのときに、WOW キーを押しても再生方法は変更できません。

WOW キーを早送り・早戻しのキーに変更する(クイックキュー)

初期状態では、音楽データ再生や録音データ再生では、WOW キーを長く押すと、再生方法の変更になります。また、WOW キーを押すとイコライザーの変更になります。WOW キーを押すことで、曲やデータの早送り・早戻しするクイックキューに変更できます。

- 1 「再生方法を選択する」(P.80)の手順 1 から 5 まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀◀ / ▶▶ キーを使って、「WOW Func キー設定」を選びます。
- 3 M キーを押します。
●クイックキューの設定の画面が表示されます。
- 4 + または - キーを使って、「Cue REW/FF」を選択します。
- 5 M キーを押します。
●コントロール設定のメニュー画面に戻ります。



- ヒント** ●この設定をした後で、音楽データ再生や録音データ再生時に WOW キーを短く押すと早送りになります。長く WOW キーを押すと早戻しになります。早送り・早戻しの量(秒)を変更できます。(P.82)
- 元の状態に戻す場合は、手順 4 で「Mode/WOW」を選んでください。

クイックキューの時間を設定する

WOW キーをクイックキュー設定したときの早送り・早戻しの量(秒)を変更できます。

- 1 「再生方法を選択する」(P.80)の手順 1 から 5 まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀◀/▶▶ キーを使って、「Cue 時間設定」を選びます。
- 3 M キーを押します。
●クイックキュー時間設定の画面が表示されます。
- 4 ◀◀または▶▶ キーを使って、早送り・早戻しの量(秒)を選択します。
- 5 設定が終わったら、M キーを押します。
●コントロール設定のメニュー画面に戻ります。



表示される言語を選ぶ

表示される言語を選択することができます。

- 1 「再生方法を選択する」(P.80)の手順 1 から 5 まで行います。
- 2 + / - キーまたは ◀◀/▶▶ キーを使って、「多国語設定」を選びます。
- 3 M キーを押します。
●多国語設定のメニュー画面が表示されます。
- 4 + または - キーを使って、言語を選びます。
- 5 選択が終わったら、M キーを押します。
●コントロール設定のメニュー画面に戻ります。




- 言語を選択しても、ID3 タグの形式が正しくないと、その国の言語で正しく表示されないことがあります。
- 選択した言語で表示されるのは、音楽データ再生時に ID3 タグで表記されたアーティスト名やテキストビューワ文章です。

間違ってキーを押さないために

ホールド機能について

ホールド機能を使うと、本機のキー操作を使えなくすることができます。誤ってキーを押してしまうことを防ぎたいときにお使いください。

- 1 HOLD キーを右側へスライドさせます。
 - HOLD キー以外のキーは使えなくなります。
 - 本機がホールド状態のときは、表示部に「」が表示されます。



1

- 2 ホールド機能を解除するには、HOLD キーを左側へスライドさせ元に戻します。

ヒント

- ホールド状態にして充電するとクイック充電になります。(P.3)
- 電源を切っている時にホールド状態にしておくで電源を入れようとしても「HOLD」と表示されて電源が切れます。持ち運ぶ時に間違って電源が入るのを防ぐことができます。

ファームウェアのアップグレードについて

ファームウェアをアップグレードすることで、機能を追加したり、より使い易くすることができます。

注意

- アップグレードを行う前に、下記の説明をお読みください。手順通りに行わない場合、本機が動作不能になる場合があります。
なお、最新のファームウェアは、SIREN Web サイト [www.sirenjp.com/support/] からダウンロードしてください。
- ファームウェアをアップグレードする前に、本機に入っている重要なファイルは必ずバックアップを行ってください。

ホームページからのファームウェアのダウンロード方法

- 1 SIREN Web サイト [www.sirenjp.com/support/] より、本機のファームウェアのアップグレード用のデータをダウンロードしてください。
 - ファームウェアのデータは、ファームウェアのデータと本機のファームウェアを書き換えるためのプログラム等と一緒に圧縮された状態です。
 - デスクトップ上にダウンロードすると、ダウンロードした後にデータが探しやすくなります。

- 2 ダウンロードしたデータをダブルクリックします。



DP300FIRMxxx.exe

- データの解凍が始まります。

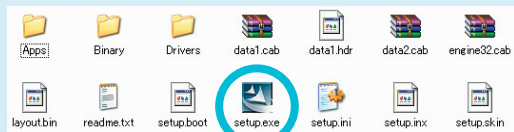
3 データの解凍が始まると解凍先を聞いてきますので、デスクトップを指定します。

- デスクトップにファームウェアのフォルダーが解凍されます。

4 解凍されたフォルダーをダブルクリックして開いてください。

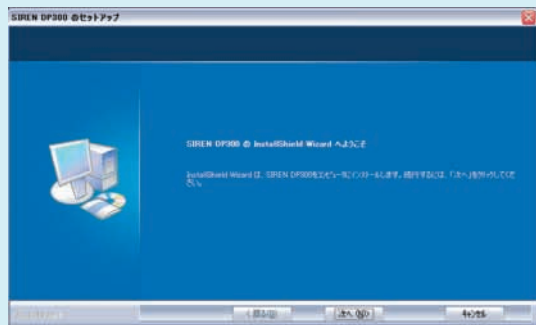
- フォルダーが開きます。

5 「setup.exe」をダブルクリックしてください。



- ファームウェアの書き換えプログラムのインストールが開始されます。

6 プログラムからの質問に答えながら、インストールを進めてください。



- 最後に「完了」を押してください。

- 7** 「スタート」をクリックし、「SIREN DP300 Firmware Update」のアイコンが表示され、インストールされたことを確認します。



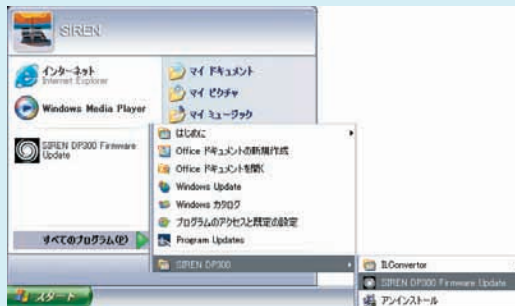
- インストールが成功して、初めて「スタート」をクリックすると「新しいプログラムがインストールされました。」と表示されます。
- もし、スタートメニューにアイコンが見えない場合は、「スタート」→「すべてのプログラム」(すべてのプログラムが表示します。)→「SIREN DP300」→「SIREN DP300 Firmware Update」がインストールされたことを確認してください。

ヒント

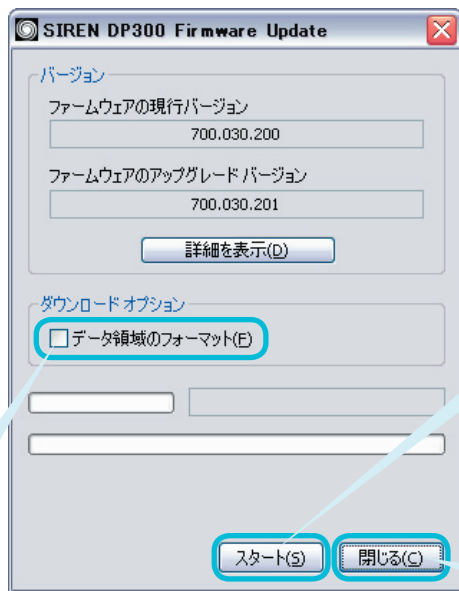
- ここでのプログラム名やファイル名または各表示は、改良のため予告無く変更されることがあります。また、一部の表示は取扱説明書において読みやすくするために、文字を大きくしている箇所があります。

ファームウェアのアップグレード方法

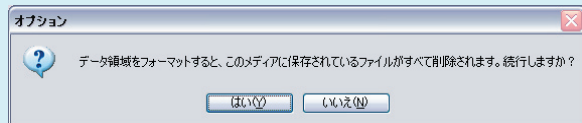
- 1** 付属の USB ケーブルを使って、本機の USB 端子とパソコンの USB ポートを接続してください。
- 2** 「スタート」→「すべてのプログラム」→「SIREN DP300」→「SIREN DP300 Firmware Update」を選択し、クリックします。



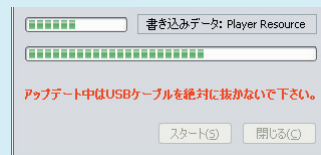
- ファームウェアのアップグレードのプログラムが立ち上がり、ウィンドウが開きます。
- 「スタート」をクリックし、「SIREN DP300 Firmware Update」のアイコンが表示されている場合は、そのアイコンをダブルクリックしてください。



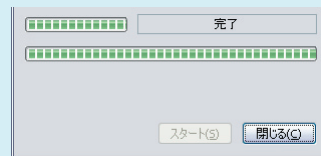
- 3** アップグレードを開始する前に「データ領域のフォーマット」欄チェックマークを確認し、本機内のデータを削除したくない場合は、チェックマークを外してください。
- 本機内のデータを削除しても良い場合は、「データ領域のフォーマット」欄チェックマークを入れてください。チェックマークを入れると、確認のためのウィンドウが開きます。「はい」をクリックしてください。



- 4** 「スタート」をクリックするとファームウェアの書き込みがスタートします。
- ファームウェアの書き込み中は、ケーブルを取り外したり、電源を切ったりしないでください。ファームウェアの書き込みに失敗して本機が動作しなくなることがあります。
 - ファームウェアの書き込み状況は、下段 2 つのバーにより確認できます。



- 5** ファームウェアの書き込みが完了すると、「完了」と「閉じる」ボタンが表示されますので、「閉じる」をクリックしてください。
- ファームウェアの書き込みが完了すると、下段 2 つのバー表示が右まで一杯になります。また「アップデート中は USB ケーブルを絶対に抜かないで下さい。」の表示が消えます。



- 6** 全ての作業が終了していることを確認してから、パソコンからの切り離しの手順(P.12～P.13 参照)に従って、本機をパソコンから取り外してください。

リカバリーモードを使っの ファームウェアのアップグレード方法

なんらかの不具合により、本機がパソコンに認識されない場合や、通常の方法ではアップグレードできない状態になったときには、リカバリーモードを使ってファームウェアのアップグレード行ってください。

- 1 本機の電源を切ります。
 - 「電源が入らない」等の不具合で、完全に電源がオフになっているかどうか分らない場合は、本体の強制リセットを行ってください。
- 2 ▶キーを押すと同時に、パソコンのUSB 端子へ接続してください。
そのままの状態です10秒以上▶キーを押した状態にしてから、
▶キー離してください。
 - リカバリーモードに入ると、本体のLCD には何も表示しません。LCD に表示が出れば、リカバリーモードには入っていませんので、再度接続してください。
- 3 「スタート」→「すべてのプログラム」→「SIREN DP300」→「SIREN DP300 Firmware Update」を選択し、クリックします。
 - リカバリーモードによるファームウェアの書き換えの場合は、最初に下記の画面が表示されます。



- パソコンに本機が認識されると、ファームウェアのアップグレードのプログラムが立ち上がり、ウィンドウが開きます。

- 4 これ以降は、「ファームウェアのアップグレード方法」の手順3 から行ってください。

- リカバリーモードによるファームウェアの書き換え時はすべてのデータをリセットするため、保存しているデータもフォーマットする必要があります。「データ領域のフォーマット」欄にチェックマークを入れてください。マークを付けなかった場合でも、データ領域のフォーマットをするようにメッセージが表示することがあります。

ファームウェアのバージョンを確認

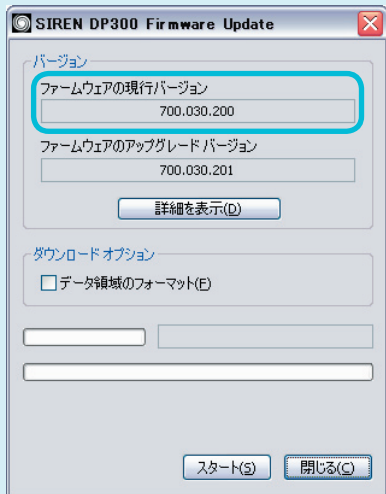
本機ファームウェアのバージョンを確認するには以下の方法で確認してください。

本機表示部で確認する

- 1 本機の電源を一旦切ってください。電源切れている状態より▶キーを押すと表示部に「SIREN」の表示があらわれ、すぐにファームウェアバージョンとメモリ容量が約1 秒間表示されます。

ファームウェアのアップグレード画面で確認する

- 1 「ファームウェアのアップグレード方法」(P.89 ～ P.91) 手順 1 から 4 に従い、アップグレード画面を表示します。



上記の画面の「ファームウェアの現行バージョン」の欄に表示している数字が本機のファームウェアバージョンです。

その他

故障かなと思ったら

製品が正常に作動しない場合には、まず以下の内容をご確認ください。

症 状	処 置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーが切れている場合があります。充電してください。
イヤホンから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● イヤホンが奥まで挿し込まれているか確認してください。 ● 音量が最小になっていないか確認してください。 ● バッテリーが切れている場合があります。充電してください。 ● イヤホンジャックに何か詰まっていませんか、またイヤホンジャックはきれいですか。 ● ダウンロードしたデータ形式は正しいですか。
表示が正しくない	<ul style="list-style-type: none"> ● 表示したい言語とデータ内文字データ (ID3 タグ) が正しく合っていますか。 ● 本機では取り扱えない、データ内文字データ (ID3 タグ) ではないですか。
データのダウンロード・アップロードがうまくいかない	<ul style="list-style-type: none"> ● バッテリーが切れている場合があります。充電してください。 ● USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。また、USB ケーブルが切断などされていないことを確認してください。 ● 本機のメモリーが不足状態になっていませんか。不要なデータは削除してください。

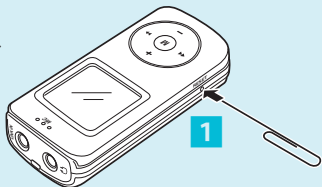
前記の表をご覧になっても問題が解決されない場合は、SIREN Web サイト [\[www.sirenjp.com\]](http://www.sirenjp.com) をご参照ください。

弊社 Web ページの「Support (サポートセンター)」にある「FAQ (よくある質問と答え)」ページでは、皆様からお寄せいただいたご質問とその回答を紹介しております。一般的な問題やご質問の多くは FAQ の情報で解決できますので、ぜひご参照ください。

FAQ をご覧になっても問題が解決されない場合は、下記に従い本機をリセットすることをお勧めします。

■ 本機のリセット方法 ■

- 1 リセットスイッチをゼムクリップなどを利用して押します。



本機をリセットしても問題が解決されない場合は、サポートセンターへお問い合わせください。

www.sirenjp.com/support/

■ サポートセンターへのお問い合わせ方法 ■

ご使用の製品とご使用環境に関する「サポートに必要な情報」が必要となります。全ての情報をご用意いただいた上でお問い合わせいただきますと、より早い対応が可能となります。

サポートに必要な情報

- ご使用の製品名「DP300」とファームウェアのバージョン
- 本体裏面シールに記載されているシリアル番号 (S/N)
- 再生した音楽ファイルのデータ形式 (WMA、MP3)
- 音楽ファイルを作成する際に使用したソフトウェアの名 (RealOne、WMP など)
- 具体的なお問い合わせの内容
行なった操作、手順、発生した不具合の状況について詳細にお知らせください。また、エラーメッセージなどが表示されている場合は、メモをとってお知らせください。
- パソコンのメーカー名、機種名
(自作パソコンの場合は、マザーボードおよび CPU の名前)
- OS の種類とバージョン

お問い合わせ先

Web ページアドレス: www.sirenjp.com/support/
電子メール: support@sirenjp.com 電話: 0570-001-606
受付時間: 平日 (月曜～金曜) 午前 9:30 ～ 午後 9:30

※ IP 電話、PHS 電話では繋がりませんので、一般の電話か携帯電話でお掛けください。

■ 最新情報について ■

DP300 の最新情報に関しては、上記弊社 Web サイトにてご覧ください。また、ユーザー登録をしていただくと、最新情報をメールにてお送りします。

製品の修理／交換について

製品の修理／交換の受付先はサポートセンターです。製品に不具合が発生し、修理が必要と思われる場合は、ご購入店へ製品をお持ちにならずに、まずサポートセンターへお問い合わせください。不具合の内容によっては、修理をしなくとも解決できる場合がございます。

修理・交換の手順

1. お客様からサポートセンターへ直接お問い合わせください。
2. サポートセンター担当者が修理または交換の必要性を判断します。
3. 修理または交換が必要な場合、サポートセンターから返送整理番号(RMA 番号)と不具合品の返送方法をお客様にご案内します。
4. 不具合品を弊社指定先へ返送整理番号(RMA 番号)を記載してご返送ください。
5. 弊社にて返送品を受領後、お客様へ修理品または交換品を発送いたします。



重要

● 修理依頼を受けました依頼品の内部のデータ関係については、一切保証致しませんので、ご了承願います。

サポートセンターからご案内する返送整理番号(RMA 番号)の無い返送品はお受け取りすることができません。製品を返送する前に必ずサポートセンターへお問い合わせ下さるようお願い致します。弊社指定先への返送時の送料はお客様のご負担となります。修理品または交換品の発送時の送料は、弊社が負担いたします。

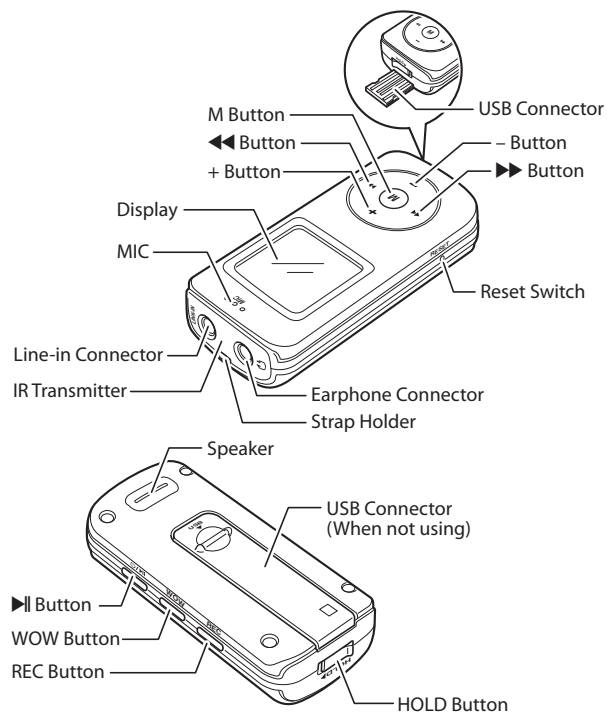
製品の修理または交換の時には、製品保証書と購入日の証明が必要となります。ご購入の際に販売店で、製品保証書に販売日・販売店印を記入、捺印してもらうかそれらが記入されたシールなどをもらって下さい。購入の際のレシート、領収書、通信販売の場合は製品の送り状等も購入日の証明となります。製品保証書と購入日の証明が無い場合には、保証期間中でも無償修理または交換が受けられません。詳しくは保証規定をご参照ください。

Quick Reference

You can change the displayed text form Japanese to English in the setting menu.

Refer to page 105 to 109.

Part names and functions



Display

File names (song titles) and/or artist names are displayed here.
The main menu or setting menu is also displayed to select tracks or change settings.

M Button

Press and hold this button to change the display to the main menu.
Press this button to enter the selected item.

In Player or Playback Rec. File Mode:
Press this button to change the display to the Navigation.

In FM Radio Mode:
Press and hold this button to change between the scan mode and preset mode.

In REC mode:
Press this button to stop the recording.

+ , - Button

In Player or Voice Recorder Mode:
Press the + button to increase the volume.
Press the - button to decrease the volume.
Press and hold the + button to increase the volume quickly.
Press and hold the - button to decrease the volume quickly.

In Navigation Mode:
Press these buttons to select the music data vertically.

In Menu Mode:
Press these buttons to change the menu contents.

◀◀, ▶▶ Button

In Player Mode:
Press the ▶▶ button to move to the next track.
Press the ◀◀ button to move to the previous track.
Press and hold the ▶▶ button to fast forward the track.
Press and hold the ◀◀ button to rewind the track.
Fast forward or rewinding can be preformed in stop mode.

In Navigation Mode:
Press the ◀◀ or ▶▶ button to move the folder layer.

In FM Radio Mode
Press the ▶▶ button to move to increase the frequency by 0.1 MHz steps.
Press the ◀◀ button to move to decrease the frequency by 0.1 MHz steps.
Press and hold the ▶▶ button to scan the higher frequency.
Press and hold the ◀◀ button to scan the lower frequency.

In Menu mode
Press these buttons to select the horizontal menu.

▶|| Button

Press and hold this button to turn on or off the player.

In Player Mode:
Press this button to start or stop music.

In FM Radio Mode
Press this button to mute.

REC Button

- In Player or Playback Rec. File Mode:
Press this button to set the A-B repeat mode.
- In Radio, Recording or Line-in Mode:
Press and hold this button to start the recording.
- In FM Radio Mode:
Press this button to store or delete the preset mode.

WOW Button

- In Player or Playback Rec. File Mode
Press this button to change the equalizer.
Press and hold this button to change the repeat mode.
- In FM Radio Mode
Press this button to change the frequency band.
Press and hold this button to start the auto scan at the Scan mode.
Press and hold this button to start the auto preset at the Preset mode.

HOLD Button

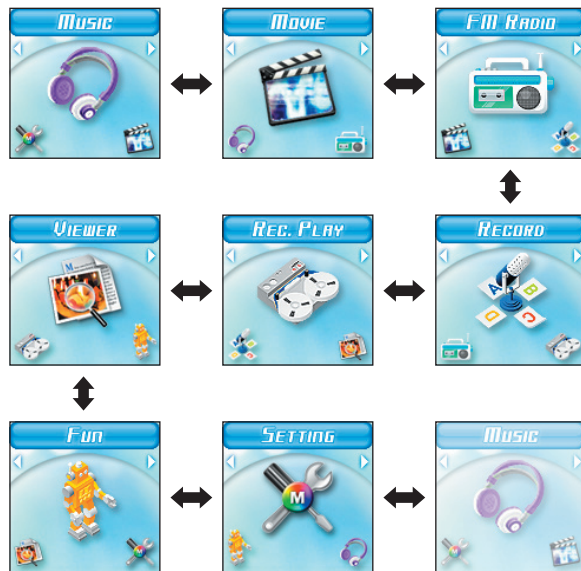
- Slide this button to arrow mark direction, the all buttons are unavailable except the HOLD button.

Reset Switch

- Press the Restart Switch with a pointed object. If this switch is pressed, the music and settings are not cleared.

Main Menu

You can change the player's mode in the main menu. The main menu has the following modes;



To change the mode

- 1 Press and hold the M button to display the main menu.
- 2 Press the ◀◀ or ▶▶ button to select the player's mode.
- 3 Press the M button to select a mode.

Main Menu Contents

MUSIC

This mode is the initial mode for this player. You select this mode to play music.

MOVIE

You select this mode to play movie. You can see the SMV format movie data in the MVIDEO folder.

FM RADIO

You select this mode to listen the FM radio. The frequency or preset channel can be changed with the ◀◀/▶▶ buttons. A preset channel can be called with the REC button. Preset channels can be set automatically by holding down the WOW button.

RECORDER

You select this mode to record voice (Mic) or sound (Line-in). Press the REC button to start the recording.

PLAYBACK REC. FILE

You select this mode to play the recording files. Press ▶|| button to start playback.

VIEWER

❖ IMAGE VIEWER

You select this mode to show the image data. An image data should be matched following format; RGB JPEG data in PHOTO folder.

❖ TEXT VIEWER

You select this mode to show the simple text data in text folder.

ENTERTAINMENT (FUN)

ENTERTAINMENT has three modes as follows; Remote Controller, Game (Blackjack) and Bio-Rhythm.

▶ Setting Menu

The Play Mode, sound quality, and/or other settings can be changed in the setting Menu.

To change the Setting Menu

- 1 Press the M button so the setting menu is displayed.
 - The main menu is displayed.
- 2 Press the +/- or ◀◀/▶▶ button to select the setting menu icon to be set.
- 3 Press the ▶|| button.
 - The sub-setting menu is displayed.
- 4 Press the +/- or ◀◀/▶▶ button to select the sub-setting menu icon to be set.
- 5 Press the ▶|| button.
 - The contents are displayed.
 - Some contents have their own setting menus.
- 6 Press the +/- or ◀◀/▶▶ button to select the s content.
 - The content is available by selecting.
- 7 Press the M button a few times to return to Play Mode.



Tips

- The setting menu will return to the previous display when no operation is continued. In this case, the selected content is available.

Setting Menu

Setup SOUND

Equalizer
User Equalizer
SRS Setting
Beep On/Off
Speaker Setting
Playback Speed
Dual Earphone

Setup DISPLAY

Back Light
LCD Contrast
Play Information
Lyric On/Off
Scroll Speed
Screen Saver
Visual Effect

Setup TIMER

Time Setting
Alarm
FM Rec Timer
Sleep Timer
Power Off Timer

Setup RECORD

Bit Rate
Gain setting
Auto Syncro setting

Setup PROPERTY

Repeat Mode
Cue Time
Cue Function
Language

Exit



Setting SOUND (音設定)

Equalizer

Select your desired equalizer as follows;
Normal, Rock, Jazz, Classic, Pop, User 1 and User 2.

User Equalizer

Adjust the range for each band.

SRS Setting

Adjust to the recorded sound by using the SRS WOW technology.

Beep On/Off

Turn the key beep on or off.

Speaker Setting

Switch the internal speaker setting.

Playback Speed

Change the playback speed.

Dual Earphone

Set the Line-in terminal as second earphone terminal.

Exit



Setting DISPLAY (LCD 画面設定)

LCD Contrast

Adjust the contrast.

Play Information

Switch the play information between the elapsed time or progress bar.

Back Light

Adjust the period of back light.

Lyric On/Off

Turn the lyrics on or off.

Scroll Speed

Adjust the cursor scroll speed.

Screen Saver

Adjust the time the screen saver is turned on.

Spectrum

Select the visualization during playback.

Exit



Setting TIMER (時計設定)

Time Setting

Set the current time.

Alarm

Set the alarm time.

FM Rec Timer

Set the time and station to record the FM broadcasting.



Exit

Sleep Timer

Set the sleep timer to turn off after fixed time.

Power Off Timer

Set the power off timer to turn off after fixed at stop mode.

Setting RECORD (コントロール設定)

Gain setting

Adjust the recording volume to record the loud source.

Auto Syncro setting

Adjust the auto syncro setting. This setting is used on the Line-in recording.

Bit Rate

Select the bit rate to change the recoding quality. When you want to high quality, you select high bit rate.



Exit

Setting PROPERTY (録音設定)

Cue Time

Adjust the Cue time. When playback, press (or press and hold) the EQ button to skip the previous (or ahead) time in order to this setting.

Repeat Mode

Select the repeat mode as follows; Normal, Repeat one, Repeat all, Shuffle and Shuffle all.



Cue Function

Turn on the Cue function. In default, when EQ button is pressed, the equalizer is changed.

Language

Select the desired language.

Exit

